

# 令和3年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和4年9月

那覇市	1	嘉手納町	46
宜野湾市	7	北谷町	48
石垣市	11	北中城村	50
浦添市	14	中城村	52
名護市	18	西原町	54
糸満市	21	与那原町	56
沖縄市	23	南風原町	58
豊見城市	26	渡嘉敷村	62
うるま市	28	座間味村	63
宮古島市	32	栗国村	64
南城市	33	渡名喜村	65
国頭村	35	南大東村	66
大宜味村	36	北大東村	67
東村	36	伊平屋村	68
今帰仁村	37	伊是名村	70
本部町	39	久米島町	71
恩納村	39	八重瀬町	73
宜野座村	40	多良間村	76
金武町	42	竹富町	77
伊江村	43	与那国町	78
読谷村	45		

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援するもの。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	アンケート未実施	未
01 那覇市	1 2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R3	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数 月平均370件以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数 【月平均517件】	◎
01 那覇市	1 3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか 【満足度:90%】	◎
01 那覇市	1 4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか 【満足度:90%】	◎
01 那覇市	1 5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、観光地としてふさわしい公園美観であると感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	-	繰
01 那覇市	1 6	福州園再整備事業	H28 ～ R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	福州園再整備工事(3期)の完了	-	繰
01 那覇市	1 7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	リュウキュウマツへの薬剤注入 76本/120本(63%完了)	○
01 那覇市	1 8	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R3	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する路線沿線を対象に、市民、自治会、学校関係、ボランティア団体へ草花苗の配布を行う。併せて、公共花壇にも年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感ずるか(80%以上)」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感ずるかを確認するためのアンケート調査実施 【満足度:87.5%】	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 9	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」→中止 ・「那覇大綱挽」→中止、綱保管のみの事業実施 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人(参考:平成30年度、令和元年度は中止)+H17:H18	・那覇大綱挽: 芯綱の保管 ・琉球王朝祭り首里: 新型コロナウイルス感染症の影響により無観客開催	△
01 那覇市	1 10	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向を把握し、その結果の活用を図る。	・WEBアンケート調査等における回収件数600件以上。	WEBアンケート調査等における回収件数600件	◎
01 那覇市	1 12	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数:7,500人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 31,476人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数:1,840人	未
01 那覇市	1 13	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人	読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 31,476人	未
01 那覇市	1 14	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量1日:23,400人	歩行者通行量1日:10,545人	未
01 那覇市	1 16	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 8,900人	参加者数 1,846人 【達成率:21%】	未
01 那覇市	1 17	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学ぶ機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 9,150人 過去3年度企画展1回あたり3,050人 ×3回=9,150人	来館者数 4,583人 【達成率:50%】	未
01 那覇市	1 18	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の完了	—	繰
01 那覇市	1 19	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	視聴者測定システムによる集計数 令和元年度視聴者数に過去対年度比の平均値17.4%程度増の17,400人(月平均)	視聴者測定システムによる集計数(月平均) 1,200人 【達成率:7%】	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 20	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか 【アンケートへの回答が得られなかった】	未
01 那覇市	1 21	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に、案内所を設置する。	案内所利用者数:18,032人 (R1年度実績 20,260人)	案内所利用者数: 9,592人	未
01 那覇市	1 22	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	・読売巨人軍那覇キャンプ、その他イベントへの派遣30回	読売巨人軍那覇キャンプ、その他イベントへの派遣: 16回	未
01 那覇市	2 1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持: 5,469円以上 ・PRイベント来場者: 37,525人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者: 107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持: 5,387円 ・PRイベント来場者: 事業中止 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者: 事業中止 ・マグロが市魚であることを知っているかを含め、アンケート調査を実施 【マグロが市魚であることを知っているかと答えた割合: 44%】	未
01 那覇市	2 2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 186名	漁業者数:231名	◎
01 那覇市	3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	海外販路開拓による経営基盤強化セミナーを開催し、フォローアップを行う等実践的な支援を行う。また、販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「経営基盤強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	・商談成約率(商談成約件数/商談件数): 17.0%(成約件数47件/商談件数8件) ・、「経営基盤強化に役立った」旨の回答割合: 93%	◎
01 那覇市	3 2	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・市長賞申込件数:17件以上 ・受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増	・市長賞申込件数: 20件 ・受賞商品の販売実績(金額): 6商品中4商品が前年比10%増	○
01 那覇市	3 4	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナー等の実施、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合: 90%	◎
01 那覇市	3 5	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 108,900人	中心商店街の平日歩行者通行量: 52,369人 【達成率: 48%】	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R3	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施 【企業経営に役立ったと回答した割合: 90%】	◎
01 那覇市	3 7	企業立地促進事業	H28 ～ R3	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・新規常用雇用者数: 25名 ・新規企業立地社(申請者): 3社	・新規常用雇用者数: 11名 ・新規企業立地社(申請者): 1社	未
01 那覇市	3 8	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就職の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	・相談窓口利用者: 1,227人 ・創業者: 4人 ・就職した人数の割合: 6.28% 【達成率: 86%】	○
01 那覇市	3 9	新商品開発支援事業	H29 ～ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品数の件数が開発した商品等の全件数に締める割合80%以上	19件の商品等を開発したが、テストマーケティングを経て製品化を進めているところであり、年度内での成果目標達成には至らなかった。	未
01 那覇市	3 11	市内中小企業経営実態調査事業	R3 ～ R3	本市に立地する中小企業の経営実態について調査を行い、より適切な本市施策の展開に努める。	・本市への事業提案 21件	本市への事業提案: 30件	◎
01 那覇市	3 12	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R3	県内のIT産業に資する人材の育成につなげることを目的に、次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング体験講座の実施と、市内小学生プログラミングコンテスト開催をする。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇などのアンケート調査を実施 【知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇と回答した小中学生の割合: 88%】	◎
01 那覇市	3 13	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R3	市域事業者が今後の新たな生活様式の社会に対応するための事業の転換や業態変更にかかる経費の一部を補助する。	補助実績15事業者以上	補助実績: 20事業者	◎
01 那覇市	4 2	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	既存開設航路の維持 1航路 新規外航航路の開設 1航路	既存開設航路の維持: 1航路 新規外航航路の開設: なし	△

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24～R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	①小学校算数(3年):+1.2ポイント 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 ②中学校数学(2年):+3.1ポイント 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差	沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 ①小学校算数(3年):+2.3ポイント ②中学校数学(2年):+2.0ポイント	△
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24～R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合80%以上(アンケート調査実施) 中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 ○中学校英語(2年):+3.4ポイント	・小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合:82.3% 中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差:+3.3ポイント	△
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24～R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査を実施 【満足度:85.5%】	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24～R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施 【満足度:95%】	◎
01 那覇市	6 5	学力向上に向けた調査研究事業	H25～R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	指導方法等、授業の改善に役立ったかを含め、教師へのアンケート調査を実施 【役立った旨の回答割合:83%】	◎
01 那覇市	6 6	不登校対策等支援事業	H24～R3	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 32%以上 中学校 51%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校15.9% 中学校21.5%	未
01 那覇市	6 7	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24～R3	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 32%以上 中学校 51%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校15.9% 中学校21.5%	未
01 那覇市	6 9	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24～R3	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.5%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 0.87%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 10	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査を実施 【島内ではできない経験をする事ができたとの回答した児童・生徒の割合：100%】	◎
01 那覇市	6 11	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査を実施 【島内ではできない経験をする事ができたとの回答した児童・生徒の割合：100%】	◎
01 那覇市	6 12	自然教室実施事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 90%以上	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合：84.3%	○
01 那覇市	6 13	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	学校長及び教育委員会による点検を実施。 ・外壁等の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	◎
01 那覇市	6 14	教育用ソフト購入事業	H27 ～ R3	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配布し、児童生徒の学習能力の向上を図る。	・沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学校2年 国語:+1.6ポイント 数学:+3.2ポイント 社会:+1.8ポイント 理科:+1.3ポイント 英語:+3.4ポイント	・沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学校2年 国語:+2.6ポイント 数学:+2.0ポイント 社会：実施なし 理科：実施なし 英語:+3.3ポイント	△
01 那覇市	7 1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	鑑賞する機会の少ない沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出し、沖縄伝統芸能の普及継承を図るため、「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演への来場者 1,090名以上	地域文化芸能公演への来場者 917名	○
01 那覇市	7 2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R3	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事等を実施する。	施設本体建設工事 4年目完了 建設工事業務委託(監理) 4年目完了 備品購入業務 完了 年間利用者数 延べ10万人	施設本体建設工事完了 建設工事業務委託(監理)完了 備品購入業務完了 年間利用者数 延べ4.7万人	○
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数：12団体(約390名)	◎
01 那覇市	8 1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の質の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたかを含め、アンケートを実施。 【保育環境の向上が図られた旨の回答割合：82.3%】	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
01 那覇市	8 2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたかを含め、対象となる児童の保護者へアンケートを実施【安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたと回答した割合：96.0%】	○
01 那覇市	8 4	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	相談したことにより課題の解決に役立ったかを含め、対象となる相談者等へのアンケートを実施【課題解決に役立ったと回答した割合：100%】	◎
01 那覇市	8 5	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	①ボランティア登録者数(新規)70人 ②ボランティアのマッチング件数280件	①ボランティア登録者数(新規)：220人 ②ボランティアのマッチング件数：220件 【達成率：54%】	△
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R3	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数：6,000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	①応急手当講習受講者数：675人 ②救命講習会の受講者へアンケート調査を実施【応急手当に自信がある、できると思うと回答した割合：92%】	△
01 那覇市	12 1	地下壕対策事業	H24 ～ R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	地下壕対策工事(1箇所)の完了	地下壕対策工事(1箇所)の完了	◎
02 宜野湾市	1 ①	宜野湾西海岸エリア活性化事業	R2 ～ R3	沖縄西海岸地域の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	・琉球海炎祭・・・来場者数1.6万人(うち県外8千人、海外2千人) ・はごろも祭り・・・来場者数16.5万人 カチャーシー大会参加者個人35人、25団体 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数3%増(H30年度実績：279,874人→目標：288,500人)	・琉球海炎祭・・・来場者数0人 ・はごろも祭り・・・来場者数0人 カチャーシー大会参加者・・・個人0、団体0 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数・・・69,155人	未
02 宜野湾市	1 ②	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展1本あたりの平均入館者数：1,470人以上	企画展1本あたりの平均入館者数：802人	未
02 宜野湾市	1 ③	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	地域文化財案内板：5件 文化財標識・説明板設置件数：3件	-	繰



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	1 ④	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、暖かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	来場者へのアンケート調査による満足度調査 80%以上	来場者へのアンケート調査による満足度 72%	○
02 宜野湾市	1 ⑤	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(倉庫・投球練習場)の完了	再編整備工事(倉庫・投球練習場)の完了	◎
02 宜野湾市	1 ⑥	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の完了	-	繰
02 宜野湾市	1 ⑦	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H27 ～ R3	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	内野グラウンド機能拡張設計及び工事の完了	内野グラウンド機能拡張設計及び工事の完了	◎
02 宜野湾市	1 ⑧	博物館機能強化事業	H26 ～ R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	館内施設整備(企画展示室改修工事)の完了	館内施設整備(企画展示室改修工事)の完了	◎
02 宜野湾市	1 ⑨	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R3	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行うことで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	・サンゴの植樹 ・海中の清掃活動 ・本市の海をPR	・サンゴの植樹 ・海中の清掃活動 ・本市の海をPR	◎
02 宜野湾市	2 ①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	スクールソーシャルワーカー等の支援による不登校児童生徒学校復帰率(「学校復帰、学級復帰、未然防止」に占める「学校復帰」の割合) H29～R1までの直近3か年の平均値 26.9%	不登校児童生徒学校復帰率 31.4%	◎
02 宜野湾市	2 ②	適応指導教室事業	H24 ～ R3	児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:10%	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 0%	未
02 宜野湾市	2 ③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R3	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	はごろも学習センターに通所する児童生徒等のうち、主訴「不登校」とする児童生徒のうち、学校への登校数が改善した件数 21件	学校への登校数が改善した件数 7件	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	2 ④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R3	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	夜間街頭指導件数 495件	夜間街頭指導件数 273件	未
02 宜野湾市	2 ⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数: +2.0ポイント以上  ・中学校 数学: -6ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数: +0.5ポイント  ・中学校 数学: -0.5ポイント	△
02 宜野湾市	2 ⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」: 80%以上	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」: 100%	◎
02 宜野湾市	2 ⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人の県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」: 80%以上	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」: 100%	◎
02 宜野湾市	2 ⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる幼児児童生徒の保護者の満足度評価: 95%以上	対象となる幼児児童生徒の保護者の満足度評価: 85%	○
02 宜野湾市	3 ①	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	①本部御殿墓の基本実施設計: 1件	-	繰
02 宜野湾市	3 ②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行う。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合 80%以上	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合 100%	◎
02 宜野湾市	4 ①	平和市民啓発事業	H24 ～ R3	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、改めて戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを市民に啓発する。	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う」と回答する割合: 80%以上	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった」 97% (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う」 53%	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	4 ②	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 85%以上 ②小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.7ポイント以上	①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 88.8% ②小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +0.9ポイント	△
02 宜野湾市	4 ③	外国人教師招致事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1.2ポイント	○
02 宜野湾市	4 ④	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICT支援員4名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器整備に関する施策・事業計画の作成を行う。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合 80%以上 ② ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合 80%以上	① 小学校 99%、中学校 95% ② 小学校 95%、中学校 91%	◎
02 宜野湾市	4 ⑤	ICT機器活用推進事業	R2 ～ R2	生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校に指導者用デジタル教科書を整備する。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICT機器とデジタル教科書を活用して指導できる率: 80%以上 ② 生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器とデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童の割合: 80%以上	① 67% ② 88%	○
02 宜野湾市	5 ①	市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄や、自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。国土強靱化地域計画等を策定することにより、自然環境と共生しながら災害リスクを軽減する宜野湾市に適した減災地域社会を形成する。	① 保存食及び保存水の備蓄 ・R3年度備蓄食糧 備蓄率99% ・R3年度保存水 備蓄率10% ② 自主防災組織への資機材整備完了(7団体) ③ 国土強靱化地域計画の策定完了	① 保存食及び保存水の備蓄 ・備蓄食糧 備蓄率 87.01% ・保存水 備蓄率 7.99% ② 自主防災組織への資機材整備完了(7団体) ③ 国土強靱化地域計画の策定完了	△
02 宜野湾市	5 ②	防災情報システム整備事業	H29 ～ R3	大規模災害時に備え、市内に高速無線LANネットワークを構築し、市役所と避難所間の連携や、沿岸監視カメラの設置などの総合的な防災情報システムの整備を行う。	防災情報システムの構築・整備の完了	-	繰
02 宜野湾市	6 ①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント ① 来場者数: 230人 地権者向けの意見交換会 ② 参加者: 80人	市民向けの意向醸成イベント ① コロナ禍でイベント中止 地権者向けの意見交換会 ② コロナ禍でイベント中止	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。また、普天間飛行場跡地利用計画検討委員会を開催し、「第2回全体計画の中間取りまとめ」を作成する。	「第2回全体計画の中間取りまとめ」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	「第2回全体計画の中間取りまとめ」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	◎
02 宜野湾市	7	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	・被覆資材等を導入したことによる生産上昇率 5%	・被覆資材等を導入したことによる生産上昇率 -8%	未
02 宜野湾市	8	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	就業意識の肯定的変化 小学校 98.9% 中学校 93.7%	◎
02 宜野湾市	9	市民会館機能強化事業	H31 ～ R3	建設から37年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①舞台機構改修工事の完了 ②車いす専用駐車場等整備工事の完了	①舞台機構改修工事の完了 ②車いす専用駐車場等整備工事の完了	◎
03 石垣市	1 ①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数:18,930人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:9,000人以上 ・とぅまら一ま大会への来場者数:3,000人以上 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	・クルーズ船での来訪客数:未達成 ・南の島の星まつりへの来場者数:未達成 ・とぅまら一ま大会への来場者数:未達成 ・アンケートで検証:100%	△
03 石垣市	1 ②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 23,500人以上	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数:7団 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数:3,290人	未
03 石垣市	1 ③	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	市民が市内にある文化財に触れる機会を確保するとともに、文化財を活用した観光誘客を図るため、指定文化財等の周辺環境を整備し、説明板を設置する。	・文化財説明板設置完了	・説明板を4基、説明プレートを1枚、案内表示プレートを2枚設置した。	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
03 石垣市	1 ④	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	・新聞資料2点の修復及びデジタル化	新聞資料2点の修復及びデジタル化の完了	◎
03 石垣市	2 ①	旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R3	旧石垣空港跡地の有効利用を図るため、土地区画整理事業を実施するために必要な環境影響評価を実施する。	・評価書手続きの完了(環境影響評価事業の完了)	-	繰
03 石垣市	2 ②	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。	・平久保灯台駐車場整備工事の完了	-	繰
03 石垣市	3 ①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・保育施設の新規開設による受入可能園児数:136人以上	・保育施設の新規開設による受入可能園児数:103人	○
03 石垣市	3 ②	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせる。	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:65%以上	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:100%	◎
03 石垣市	3 ③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	本市のものづくり産業に関する販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。 また、伝統工芸の担い手確保を図るため、技術者養成等を行う。	・特産品の保税輸出量:1.6トン以上 ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数 延べ2,750人以上 ・八重山上布の研修終了者:15人以上	・特産品の保税輸出量:0トン ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数:未達成 ・八重山上布の研修終了者:15人	△
03 石垣市	3 ④	石垣市就業支援事業	H30 ～ R3	本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。	・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:1,000名以上 ・島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:未達成 ・アンケート調査により検証:89%	△
03 石垣市	4 ①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R3	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	①素牛の年間出荷頭数:7,191頭以上 ②素牛の平均販売額:710千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:834頭以上 ④肥育牛の年間売上高:1,022百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	①素牛の年間出荷頭数:6,967頭 ②素牛の平均販売額:658千円 ③肥育牛の年間出荷頭数:741頭 ④肥育牛の年間売上高:938百万円 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	△
03 石垣市	4 ②	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、石垣市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:120トン以上	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:125トン	◎

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
03 石垣市	4 ③	水産振興事業	H24 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援実施	◎
03 石垣市	5 ①	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	・保護者へのアンケート:100%	◎
03 石垣市	5 ②	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名以上	・児童生徒を対象としたアンケート:100% ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数:269人	△
03 石垣市	5 ③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、臨床心理士、地域子育て相談員を配置し、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、臨床心理士、地域子育て相談員による発達相談等を実施する。	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	・保護者が個別相談等の支援を受けた割合:34% ・保護者へのアンケート:100%	◎
03 石垣市	5 ④	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率: 小学校51.8% 中学校45.4% ・児童生徒へのアンケート:65%	未
03 石垣市	5 ⑤	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	・児童生徒に対するアンケート:90.6%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ⑥	専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・小学校での教員採用試験合格者数:9人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:6人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・小学校での教員採用試験合格者数:7人 ・中学校での教員採用試験合格者数:2人 ・受講者へのアンケート:91%	○
03 石垣市	5 ⑦	オオゴマダラ地域交流事業	H25 ～ R3	児童が自然や地域特性について学ぶ機会の充実を図るため、本市の市蝶であるオオゴマダラの、飼育・観察・評価による「チョウを調べる」学習を行うとともに、オオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し取材と学びの体験交流を行う。	・本事業の対象児童へアンケートを実施し、「地域の自然への興味・関心が深まった」と回答する児童の割合(80%以上)を含め、事業の効果を検証する。	・対象児童へアンケートを実施:84%	◎
03 石垣市	5 ⑨	スポーツ教室・交流事業	H31 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	・トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室の参加者数:延べ250名以上 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	-	-
03 石垣市	5 ⑪	不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校1.69%以下 中学校4.34%以下	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校:2.58% 中学校:未配置	未
03 石垣市	5 ⑫	子ども若者総合相談支援事業	H31 ～ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・本事業で支援を受けた者の数:40名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:37.5%以上	・本事業で支援を受けた者の数:55名 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:80%	◎
03 石垣市	6 ①	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	・建築工事の補助完了	-	繰
04 浦添市	1 ②	ありんくりんクリーン事業	H24 ～ R3	グスク時代の古城である「浦添城跡」や歴史の道「中頭方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御嶽や井泉、歴史的人物の墓陵などを観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を行う。	安全・快適で魅力的な観光地としての景観形成を図れたか(85%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート:99%	◎
04 浦添市	1 ③	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ～ R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。	ガイダンス施設入館者数: 17,300名以上/年	ガイダンス施設入館者目標数: 実績:6206名	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
04 浦添市	2 ①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取り組みを行う。	①、②魅力的なまちなみ景観形成の取り組みを実感できる(80%以上)内容を含め、観光客及び市民等を対象にアンケートを行い、本事のあり方についての検証を行う。 ③地域の歴史や文化に対する興味、関心度の確認(80%以上)を参加者に対し、アンケートを実施するとともに本事業のあり方の検証も行う。	①、②アンケート:75% ③アンケート:70%	○
04 浦添市	2 ②	地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。	整備を行った文化財を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年	整備を行った文化財を活用したイベントへの参加人数 実績:132名	未
04 浦添市	3 ①	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展の充実化や関連講座の実施、企画展等を実施する。	常設展観覧者数:2,604人以上/年	常設展観覧者数: 実績:2907人	◎
04 浦添市	4 ①	島桑オジー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。また、量産化した桑果実の保管等を行うため、桑果実等生産拠点施設の整備を行う。	・桑関連事業売上目標:35,000千円 ・桑果実等生産拠点施設整備の完了	・桑関連事業売上実績:23,249千円 ・桑果実等生産拠点施設整備の実績:完了	○
04 浦添市	4 ③	浦添観光振興事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源の情報発信を行う。また、公衆無線LANを活用した観光客の動態調査を行う。	①ポータルサイト訪問者数:450,000人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:30,000人 ③ウィズコロナにおける観光戦略の確立	①ポータルサイト訪問者実績数:382783人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客数:21832人 ③ウィズコロナにおける観光戦略の確立:実施	○
04 浦添市	4 ④	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ R3	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。	交通広場工事の完了	-	繰
04 浦添市	5 ①	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R3	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
04 浦添市	6 ①	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	・既存開設航路の維持 1航路 ・新規外航航路の開設 1航路	・既存開設航路の維持 継続	△



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
04 浦添市	7 ①	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R3	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	アンケート:99%	◎
04 浦添市	8 ①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農村部での体験学習を行う。	体験学習によって児童にプラスの変容があったかを児童自身及び保護者を対象としたアンケート等で検証する。  ①事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。  ②自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①アンケート:85.5% ②アンケート67.1%	○
04 浦添市	8 ②	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.1ポイント ・中学校:数学 -0.25ポイント	未
04 浦添市	8 ③	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	情緒不安やあそび非行傾向等課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各支援員を配置し登校復帰や不登校未然防止を図る。	不登校児童生徒復帰率 小学校:40.5%以上  中学校:48.6%以上	不登校児童生徒復帰率 小学校:49.1%以上  中学校:40.9%以上	◎
04 浦添市	8 ④	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、小集団の中で個々の状況に応じた学習活動や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	・適応指導教室入級生の学校復帰率100% ※学校復帰率=(チャレンジ登校できた入級生/適応指導教室入級生)  ・支援登校率60.4%以上 ※支援登校率=(チャレンジ登校できた日数/チャレンジ登校計画合計日数)	・適応指導教室入級生の学校復帰率100% ※学校復帰率=(チャレンジ登校できた入級生/適応指導教室入級生)  ・支援登校率68.2% ※支援登校率=(チャレンジ登校できた日数/チャレンジ登校計画合計日数)	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
04 浦添市	8 ⑤	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	①ICT機器を整備した16校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②ICT機器を整備した16校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①アンケート:82.6% ②アンケート:92%	○
04 浦添市	8 ⑥	デジタル教科書導入事業	R2 ～ R3	市内小中学校へ、指導者用デジタル教科書を導入しICT環境を整備する。	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合80%以上	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合92%	◎
04 浦添市	10 ①	浦添市学童っ子応援プロジェクト事業	H24 ～ R3	放課後児童クラブの安定的な運営と保護者の就労を支援するため、家賃補助を行う	安定的な運営支援となっているか、安心・安全に子どもを預けることができ、就労の支援となっているか(80%以上)を含め、対象となる放課後児童クラブ及び児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	アンケート:100%	◎
04 浦添市	11 ①	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R3	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	アンケート:92.5%	◎
04 浦添市	11 ②	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	登記済延長率:100% (R3実施分:5%)	登記済延長率:100%	◎
04 浦添市	11 ③	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	地主会若手組織の活動体制づくり、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動を支援する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:80%	◎
04 浦添市	11 ④	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	特定事業の用に供する土地取得目標 42,000㎡ (達成率100%) ※達成率:先行取得目標面積(174,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得目標 37,991㎡	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
04 浦添市	12 ①	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	R3年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量年30,000kg-CO2の削減(H29年度からR2年度までの累計削減量:355,993kg-CO2/年(H28年度比))	R3年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量年30,578kg-CO2の削減	◎
05 名護市	1 ①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -3.0以内	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学生 -7.7 ②中学生 -4.7	未
05 名護市	1 ②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R3	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 21%	復帰割合10%	未
05 名護市	1 ③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率80% ・小学校6年生:正答率82% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率78.5% ・小学校6年生:正答率82.0% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -4.0ポイント	△
05 名護市	1 ⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R3	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合22% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合72%	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合50% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合30%	○
05 名護市	1 ⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R3	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校に生徒に広い視野をもたせるため、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会へ参加する際の派遣費用を支援する。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで「児童生徒が県内ではできない経験をすることができたか」の項目で80%以上。また、他項目も併せて当該事業の在り方について検証の実施。	アンケート結果:100%	◎
05 名護市	1 ⑦	小中一貫教育推進事業	H26 ～ R3	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」に非常勤講師を配置し、小中学校において相互乗り入れ授業やチームティーチング(TT)授業等より分かる授業を実践する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学5年生 算数:県平均以上 ② 中学2年生 数学:県平均以上	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学5年生 算数:県平均-15.4ポイント ② 中学2年生 数学:県平均+13.6ポイント	△

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PR イベント「名護スペシャルデー」を開催する。	①プロ野球キャンプ時における見学者数 28,950人以上 ②名護市観光統計入込客数 6,462,994人以上	①プロ野球キャンプ時における見学者数 25,226人 ②名護市観光統計入込客数 2,094,669人	未
05 名護市	2 ②	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	修学旅行等の誘致を図るため、やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。	・オランダ墓通路整備(その2、ウッドデッキ)の完了 ・塩づくり体験施設用地購入の完了	—	繰
05 名護市	2 ③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	H31 ～ R3	市内の中小規模事業者の販路拡大及び売上増加を図るため、商品の高付加価値化を支援するとともに、新しい販売システムを構築する。	①高付加価値化した商品数: 5品 ②ふるさと納税返礼品登録: 3品 ③支援を受けた事業者へアンケート調査を実施し、今後の事業展開にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)含め、本事業のあり方を検証する。	①高付加価値化した商品数: 3品 ②ふるさと納税返礼品登録: 0品 ③アンケート結果:60%	未
05 名護市	2 ⑤	自転車まちづくり普及事業	H31 ～ R3	健康増進や環境にやさしい交通手段として、自転車の普及や安全運転を啓発するイベントを開催し、サイクルツーリズムを推進する。	イベント参加者数: 72名	イベント参加者数: 50名	未
05 名護市	2 ⑥	名護湾沿岸実施計画策定事業(名護漁港周辺エリア活性化計画策定事業)	H30 ～ R3	名護湾沿岸基本計画において検討してきた「名護漁港周辺エリア」で示された必要機能の整備に向けた詳細検討及び将来の整備につながる事業化検討及び基礎調査を行う。	事業化検討・基礎調査の完了	事業化検討・基礎調査の完了	◎
05 名護市	2 ⑦	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3 ～ R3	令和2年度に策定した名護湾沿岸基本計画(21世紀の森及び名護漁港エリア活性化事業)をもとに、「21世紀の森公園周辺エリア」の取組として、名護湾沿岸の資源を活かした魅力向上に向けて、構成する各施設を整備し活性化を図る。	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアル・サウンディングの完了	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアル・サウンディングの完了	◎
05 名護市	2 ⑧	名護市武道場基本計画策定業務	R3 ～ R3	市内の武道振興を図るほか、大会誘致等スポーツコンベンションに寄与する目的で武道場を整備する。今年度は基本計画を策定する。	基本計画策定業務の完了	基本計画策定業務の完了	◎
05 名護市	2 ⑨	名護市観光施設機能強化事業	R3 ～ R3	名護市の観光振興に寄与する拠点施設であるネオパーク・オキナワ、なごアグリパークの施設機能を強化する。	・浄化槽高機能化の完了 ・観光広告物設置の完了	・浄化槽高機能化の完了 ・観光広告物設置の完了	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ⑩	(仮称)真喜屋大川利活用基本計画策定事業	R3 ~ R3	名護市羽地地域にある羽地地域直売加工施設「羽地の駅」に隣接する真喜屋大川の護岸を親水護岸として整備し、羽地の駅周辺の拠点性を高め、観光拠点としての機能強化及び地域活性化を図るため、基本計画を策定する。	真喜屋大川利活用計画の策定	真喜屋大川利活用計画の策定	◎
05 名護市	2 ⑪	二見以北交流拠点施設機能強化事業	R1 ~ R3	二見以北地域唯一の観光拠点「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」に、来場者が学習、交流できる機能や名護・やんばる東海岸地域の情報発信機能、シャワー・トイレ等を新たに整備する。 R3年度は機能強化に向けた実施設計を行う。	実施設計の実施完了	-	繰
05 名護市	3	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ~ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	・金融・情報基礎人材育成講座の参加者:150名	・金融・情報基礎人材育成講座の参加者:149名	○
05 名護市	4	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ~ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 113%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	未
05 名護市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H27 ~ R3	急病や事故、災害等により市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。	①救命講習会参加者へのアンケートで、自信をもって応急手当が出来ると回答した割合80%以上 ②まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上	①アンケート結果:100% ②まちかど救急ステーション認定事業所:0件	△
05 名護市	5 ②	ハブ等対策事業	H27 ~ R3	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	◎
05 名護市	5 ③	環境再生・活用整備事業	H29 ~ R3	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場としての活用する河川に整備する。	・用地取得の完了 ・物件補償の完了 ・河川整備工事(磁気探査含む)の完了	-	繰
05 名護市	6	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ R3	名護市自転車ネットワーク計画に基づき、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、市内の市道に自転車の通行空間となるモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	令和3年度自転車指導レーン整備延長:3,400mの整備 柳原線:L=1,340m 外郭線:L=1,480m 北農線:L=580m	令和3度自転車指導レーン整備延長 L=3,720mの整備を実施 (柳原線:1,340m) (外郭線:1,800m) (北農線:580m)	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
05 名護市	7	スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①アンケート結果:98% ②アンケート結果:85%	◎
05 名護市	8	多世代交流施設整備基本計画策定業務	R3 ～ R3	子どもや子育て家庭に対する支援を強化するため、子どもの健やかな育ちを地域で見守り、子育て家庭の相談窓口として切れ目のない支援が行え、子どもから高齢者までの多世代が集い、交流できる機能等を備えた複合施設を整備する。	・基本計画の策定完了	・基本計画の策定完了	◎
05 名護市	9	名護・やんばる平和学習推進事業	R3 ～ R3	地域の歴史文化を継承し平和への理解を深めるため、『名護・やんばるの沖縄戦ガイドブック』を制作・配布し、平和学習を行う。	平和への理解をより一層深められたか(80%以上)を含め、平和学習会でのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:92%	◎
05 名護市	10	名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R3	第5次名護市総合計画および第2次名護市観光振興基本計画に基づき、市民や関係機関等と連携・協働した情報発信戦略を構築し、本市の観光資源の認知度向上を図る。	認知度向上がはかられたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:75.6%	○
05 名護市	11	防災対策基盤強化事業	R3 ～ R3	トンネル火災を含めた多様な災害に対応するため、県内に配備の少ない泡消火剤混合システムの機能や高い放水機能を有する大型水槽車を整備する。	大型水槽車(1台)の配備	-	繰
05 名護市	12	名護市テレワーク人材育成事業	R3 ～ R3	市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の回復と多様な働き方で環境の変化に対応できる強い地域経済の構築を図るため、テレワーカーの人材育成と就労支援を実施する。	・テレワーカー50名の育成 ・テレワーカーの稼働率:80%	・テレワーカー60名の育成 ・テレワーカーの稼働率:23%	△
06 糸満市	1 ①	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。また、地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催し、受講者による魅力の把握・再発信を促す。	①市ホームページ上での歴史民俗地図・現況図へのアクセス数1,880件以上 ②旧摩文仁村集落ガイドマップ配布者へのアンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	・アクセス数3,297件 ・アンケート結果91%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
06 糸満市	1 ②	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R3	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区整備工事完了 ・助成金による景観形成整備の完了(5件)	・重点地区整備工事完了 ・助成金による景観形成整備の完了(3件)	○
06 糸満市	2 ①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害:0件	◎
06 糸満市	3 ②	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事の完了 ・展示製作業務の完了	-	繰
06 糸満市	4 ①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数0% 中学校数学-1%	県学力到達度調査の県との差 小学校算数:2% 中学校数学:1.9%	◎
06 糸満市	4 ②	英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	・小学生 アンケート結果:100% ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語:0.91%	◎
06 糸満市	4 ③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:75%	◎
06 糸満市	4 ④	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、認定こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	アンケート結果:100%	◎
06 糸満市	4 ⑤	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	①児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ②情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	アンケート結果 ① 90.5% ② 99.1%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
06 糸満市	5 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件	合宿誘致3件	未
06 糸満市	6 ①	母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	支援終了者のうち自立につながった割合100%	◎
07 沖縄市	1 ①	kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・撮影件数50件	・撮影件数 66件	◎
07 沖縄市	1 ②	音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	観光客来館者数:4,000人	観光客来館者数:1,750人	未
07 沖縄市	1 ③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:12,825人	未
07 沖縄市	1 ④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の振興及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活用拠点施設の舞台機構、舞台照明等、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事(第2期)の完了	・沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事の完了	◎
07 沖縄市	1 ⑤	国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍相談窓口を開設し、ショートステイをしている外国人観光客等の生活上等の困難の改善を図る。 また、市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	①来所者数7,000人 ②生活上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①来所者数 5,145人 ②94.4%	○
07 沖縄市	1 ⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサー会館来場者数:26,788人以上	・エイサー会館来場者数 9,200人	未
07 沖縄市	1 ⑦	観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	主要ホテル宿泊延べ人数:177,292人	主要ホテル宿泊延べ人数:97,489人	未



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	1 ⑧	文化芸術推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊、三線、音楽、演劇等の舞台芸術や美術工芸等の展示など、市民等に伝統芸能に触れる機会を創出する文化芸術祭を開催する。	舞台公演 3回 展示公演 1回	舞台公演 7回 展示公演 4回	◎
07 沖縄市	1 ⑨	観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化 ・観光誘客に係る目標値の設定	観光入込統計調査の完了。	◎
07 沖縄市	2 ①	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ開催に向けた機運醸成に取り組む。	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 13,493人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 130,693人 ・Bリーグオールスターゲーム機運醸成イベント開催来場者数:300人	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 9,632人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 154,494人 Bリーグオールスターゲーム機運醸成イベント開催来場者数:0人(イベント中止により未実施)	△
07 沖縄市	3 ①	道路景観形成推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート 90%	◎
07 沖縄市	3 ②	緑化景観推進事業	H30 ～ R3	観光地周辺道路を亜熱帯植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	80.17%	◎
07 沖縄市	4 ①	こども科学力育成事業	H24 ～ R3	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度94%以上)	97.8%	◎
07 沖縄市	4 ②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R3	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育専門員、教育補助者、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±1ポイント以内を目指す。 中学校:県との差±0ポイント以内を目指す。	小学校:-0.7ポイント 中学校:-1.7ポイント	△
07 沖縄市	4 ③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R3	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 26%以上	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:99% ・不登校児童生徒登校復帰率:18%	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4 ④	青少年等支援事業	H25 ～ R3	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①午前・午後巡回指導件数 前年度比 39.4%減 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比 3.6%減 ③若者の主訴改善件数 20件以上	①78%増 ②49%減 ③25件	△
07 沖縄市	5 ①	就労等支援事業	H24 ～ R3	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就職決定者割合22% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・就職決定者割合:26.6% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する:100%	◎
07 沖縄市	5 ②	産業集積推進事業	R2 ～ R3	中心市街地商店街内の空き店舗を活用して拠点施設を設置し、創業相談窓口の設置、ICT人材育成等の取組を一体的に推進するとともに、官民協働によるエコシステムを構築することで、地域経済を牽引する人材や企業の輩出や、外部の人材や企業の移転を促進し、市内及び中心市街地における新たな産業の集積を推進する。	創業支援者数:54件	創業支援者数:121件	◎
07 沖縄市	6 ①	地域防災対策事業	H24 ～ R3	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保などを行い、防災倉庫の整備を行う。また、避難場所に指定されている公園に災害用トイレ等の整備を行う。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	-	繰
07 沖縄市	6 ②	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ R3	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・古謝地区1路線約140mの整備工事の完了 ・本避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、安全安心に避難できたか80%を含め訓練参加者に対してアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	-	繰
07 沖縄市	6 ③	防災拠点体制整備事業	R2 ～ R3	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。	R3備品整備の完了	R3備品整備の完了	◎
07 沖縄市	7 ①	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	里道・水路の占用許可・用途廃止等を行うにあたり、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道及び水路の位置を確定する。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	-	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	8 ①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R3	東部海浜開発事業について、市民や県民等に対する事業PRに取組み、認知度の向上を図る。また、健康医療施設用地に係る公募条件等の整理のため、県外企業ヒアリングを行う。	①認知度の向上が図られたかアンケート調査を実施(認知度[目標値]:60%以上) ②公募条件整理に向けたヒアリングを実施(回数:9回[35社])	①認知度の向上が図られたかアンケート調査を実施 認知度:72.6% ②公募条件整理に向けたヒアリングを実施(回数:0回)	△
07 沖縄市	9 ①	平和推進事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:99%	◎
07 沖縄市	10 ①	農業施設整備事業	R1 ～ R3	本市倉敷地区の畜産農家の農業用水を確保するため、倉敷ダム放流水を水源とする取水施設や貯水池の整備を行う。	整備工事の完了	-	繰
07 沖縄市	11 ①	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、各種ソフト施策を実施する。	商品開発実施支援業務の完了	商品開発実施支援業務の完了	◎
07 沖縄市	12 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設等の整備を行う。	クマ舎周辺エリア整備工事(第2期)の完了 サイン等設計製作の完了 目標入園者数65万人	-	繰
07 沖縄市	13 ①	商店街等活性化事業	R1 ～ R3	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	営業店舗増加数(1件)	営業店舗増加数:0件	未
07 沖縄市	14 ①	航空機騒音測定事業	R3 ～ R3	航空機騒音被害の実情をより正確に把握するため、航空機が選別できる、精度の高い騒音測定器を整備する。	・市街地上空飛行件数の減少(年間6,259件以下)	・市街地上空飛行件数 6,715件	未
08 豊見城市	1 ①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・磁気探査業務、埋蔵文化財調査報告書作成業務、地積測量図作成業務の完了 ・園路等整備工事の完了 ・用地購入及び物件補償の完了	-	繰
08 豊見城市	1 ③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:91%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	2 ②	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	アンケート結果:97%	◎
08 豊見城市	3 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:81%	◎
08 豊見城市	3 ②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	小中学校において担任教諭の授業展開の補助を行い個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へつなげる。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.7ポイント以上 ②中学校:+0.6ポイント以上	①小学校:+2.0ポイント ②中学校:-2.6ポイント	未
08 豊見城市	3 ③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善を図り、児童相談所等の関係機関とのネットワークの構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	支援対象ケース改善率:40.1%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	支援対象ケース改善率:51.9% (67件/129件)	◎
08 豊見城市	3 ④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校児童生徒復帰率:23.53% (44人/187人)	◎
08 豊見城市	3 ⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+2.5ポイント以上	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合:79.60% 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差:-4.1ポイント	△
08 豊見城市	3 ⑥	ICT教育推進事業	H31 ～ R3	わかりやすい授業によって教育の質の向上を図り、児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成を図るため、学校にICT機器を整備する。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、情報教育指導補助員を派遣する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	①アンケート結果:93.91% ②アンケート結果:88.68%	◎
08 豊見城市	3 ⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:98.68%	◎
08 豊見城市	4 ①	デジタル博物館事業	R2 ～ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理し公開する。	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業(10万点)、地域資料収集作業(8地域)、収蔵品写真撮影(4,050点) 民話資料データ化(650話)の完了、ホームページの公開	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業:10万点 地域資料収集作業:8地域 収蔵品写真撮影:4,050点 民話資料データ化(658話)の完了 ホームページの公開	◎
08 豊見城市	5 ①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	◎
09 うるま市	1 ①	企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出に繋げる。	①開発事業者等のうるま市投資案件現地視察:10社 ②目標企業誘致件数:2社以上	①開発事業者等のうるま市投資案件現地視察:4社 ②目標企業誘致件数:0社	未
09 うるま市	1 ②	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	アンケート結果:99%	◎
09 うるま市	1 ③	商品プロモーション事業	H25 ～ R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	・物産展の1事業者平均売上額:32,330円 ・商談成立件数:7件 ・アンケート実施:100%	△
09 うるま市	1 ④	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R33	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	物流モデルの創出件数(2件以上)	物流モデルの創出件数:3件	◎
09 うるま市	1 ⑤	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R3	市内における新たな産業集積地の確保を目的とした産業基盤整備計画を策定し、事業化に向けた検討及び企業進出の受け皿確保、新規雇用の創出を図る。	産業基盤整備事業設計調査の完了(現地測量調査、地質調査、基本設計、整備効果調査、整備事業計画、地権者・住民の合意形成)	-	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
09 うるま市	1 ⑥	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	商品開発件数:3社	商品開発件数:3社	◎
09 うるま市	1 ⑦	産業振興計画策定事業	H28 ～ R3	「うるま市産業振興計画」(平成29年3月)で示した目標の達成状況及び実施事業の効果検証を行うとともに、昨今の社会経済情勢の変化に対応した、本市の経済的自立を促す経営手法の導入と地域資源の活用による持続可能な経済振興施策を展開するための計画を策定する。	産業振興計画の策定完了(現計画の目標達成状況の検証、現状把握、地域住民・企業ニーズの把握、地域資源の活用による経済施策の検討、民間経営手法の導入による各種施策の検討、各施策分野の出口戦略検討、委員会運営)	産業振興計画の策定実施	◎
09 うるま市	2 ①	就労支援事業	H24 ～ R3	求職者や企業に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	①就労支援を行った新規雇用者数:350人以上 ②小中高生、既卒生・高校等中退者へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	①就労支援を行った新規雇用者数:117人 ②小中高生、既卒生・高校等中退者へのアンケート 96%	△
09 うるま市	2 ②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R2	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワーカーを対象にした人材育成の完了	・新規雇用者を対象にした人材育成の実施 ・テレワーカーを対象にした人材育成の実施	◎
09 うるま市	3 ①	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力をPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光誘客を図る。	・主要施設来場者数 355,051人以上	・主要施設来場者数 135,583人	未
09 うるま市	3 ③	めんそーれうるま! キャンプ・合宿事業	H31 ～ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	・キャンプ・合宿件数 11件以上 ・クラブハウス建設の完了 ・サッカーコート2面目の芝整備完了	-	繰
09 うるま市	3 ④	サイクルツーリズム推進事業	R2 ～ R3	サイクリングを目的とした観光誘客を図るため、受入環境の整備及び国内外向けプロモーションを実施する。	・受入環境の整備完了(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) ・サイクリングマップの作成完了 ・国内外向けプロモーションの完了	・受入環境の整備完了(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) ・サイクリングマップの作成 ・国内外向けプロモーションの完了	◎
09 うるま市	3 ⑤	観光防災危機管理対策事業	R3 ～ R3	災害時における観光客等の安全を確保し、安心・安全・快適な観光地の形成を図るため、観光防災危機管理計画を策定するとともに、勉強会や訓練を実施する。	・観光防災危機管理計画の策定完了 ・勉強会(3回)を実施し、観光客の安全を確保する仕組みが分かった(80%以上) ・訓練(1回)を実施し、安全・確実に避難行動がとれた(80%以上)	・観光防災危機管理計画の策定実施 ・勉強会(3回)を実施し、観光客の安全を確保する仕組みが分かったかアンケート:93.7% ・訓練(1回)を実施し、安全・確実に避難行動がとれたかアンケート:66.66%	○

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
09 うるま市	4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・AR・VR制作業務の完了 ・入口広場整備工事の完了 ・用地取得の完了 ・物件移転補償(公共補償)の完了	-	繰
09 うるま市	5	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	景観地区等の指定により、各地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することで、観光地としての魅力向上を図る。	①景観地区指定委託業務(与那城伊計島地区)の完了 ②まちなみ景観助成の実施 訪問観光客の景観に関する満足度(80%以上)	①景観地区指定委託業務の実施 ②まちなみ景観助成の実施 訪問観光客の景観に関する満足度:80%	◎
09 うるま市	6 ②	ICT活用島しょ地域児童生徒交流実証事業	R2 ～ R3	生活環境や世代が異なる人々との交流を促進するため、ICTを活用した交流体験・交流学習を行う。	・保護者へのアンケートで、生活環境や世代が異なるの人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。  ・児童生徒のライフスキル自己評価 10%増加	・保護者へのアンケート:56% ・児童生徒のライフスキル自己評価 9.5%	未
09 うるま市	7 ①	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置の完了	強化型パイプハウス設置の実施	◎
09 うるま市	7 ②	津堅島農業活性化事業	H31 ～ R3	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行い、津堅島農業の活性化を図る。	津堅島農業支援業務の完了	津堅島農業支援業務の実施	◎
09 うるま市	8 ①	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 -0.1	未
09 うるま市	8 ②	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学平均正答率 -1.5%とする。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学平均正答率 -7.9%	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
09 うるま市	9	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R3	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	・居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(95%) ・学習習慣の定着度(80%) 保護者、児童生徒からのアンケート調査により把握する	・居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合:100% ・児童生徒からのアンケート調査:88%	◎
09 うるま市	10 ①	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合34%以上	・不登校児童生徒復帰率:3% ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合20%	未
09 うるま市	10 ②	教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数実績に対するケース終結の割合を32%以上を目標にする。	相談件数に対しての課題解決割合:38%	◎
09 うるま市	10 ③	適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	体験活動に参加することができた割合85%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合80%以上	体験活動に参加することができた割合:100% 中学校3年生の卒業後の進路決定割合:85%	◎
09 うるま市	10 ④	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・部活動加盟率及び在籍生徒数58%以上(2,278人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証する。	・部活動加盟率及び在籍生徒数49.2%(1,910人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケート83%	○
09 うるま市	10 ⑤	教育ICT支援員派遣事業	H27 ～ R3	多くの教員がICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を派遣する。	・児童生徒へのアンケート調査「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:80%以上	・児童生徒へのアンケート調査「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:62%	未
09 うるま市	11	自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	・防災訓練の回数については、各防災組織が1回	◎



## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
09 うるま市	12	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R3	公共施設間連絡バス現行ルートの検証及び見直し、既存バスや離島航路との結節、市民ニーズを整理し、地域特性に応じた運行形態による実証実験を踏まえ、新たな公共交通システムの導入に向けた検討調査を行う。	新たな交通システム検討調査報告書としてとりまとめる。	－	繰
10 宮古島市	1	① 宮古島市neo歴史・文化ロード環境整備事業	H24 ～ R3	観光客の満足度確保を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用し、散策コースの策定及び環境整備・美化作業を行う。	観光地として満足できる文化財めぐりができたか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検討する。	アンケート結果:96.5%	◎
10 宮古島市	2	① 観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路等の環境美化(除草・清掃)を実施する。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:95.9%	◎
10 宮古島市	2	② 観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:95.9%	◎
10 宮古島市	3	② 誘客促進事業	H24 ～ R3	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動及び新規航空路線就航に向けたPR活動の実施並びに官民が連携した観光マネジメント体制を構築する。	・入域観光客数642,000人以上	・入域観光客数:434,969人	未
10 宮古島市	4	① 生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、宮古島市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(118.9トン以上)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:196.0トン	◎
10 宮古島市	4	② 宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R3	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術社育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。	・研修施設建築工事の完了 ・研修施設備品購入設置の完了	・研修施設建築工事の完了 ・研修施設備品購入設置の完了	◎
10 宮古島市	5	① 救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R3	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	①救命講習会受講者数 950名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。 ③コンビニエンスストア等に2カ国語対応AEDを19台設置する。	①救命講習会受講者数:774名 ②アンケート結果:89.2% ③AED設置台数:19台	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	6 ①	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合:29%	未
10 宮古島市	6 ②	選手派遣支援事業	H24 ～ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:97%	◎
10 宮古島市	7 ①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3 ～ R3	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	◎
10 宮古島市	8 ①	平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ R3	宮古地域における物流の安定化を図るため、総合物流センターを整備する。	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の完了	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の完了	◎
10 宮古島市	9 ①	地下水保全調査事業	H29 ～ R3	伊良部島において新たな新水源開発可能な地点を選定する。また伊良部島地下水を持続的に使用するための適正揚水量等の稼働シミュレーションを行い、適切な地下水管理の基礎資料を作成する。	1)伊良部島における水源開発追加調査の完了	1)伊良部島における水源開発追加調査の完了	◎
10 宮古島市	10 ①	城辺地区世代間交流施設整備事業	R3 ～ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び、高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地区に多世代が集い、交流ができる施設を整備する。	建設工事の完了	建設工事の完了	◎
10 宮古島市	11 ①	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R3	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	・引込管路設置工事の完了 ・幹線部(電線)実施設計の完了	・引込管路設置工事の完了 ・幹線部(電線)実施設計の完了	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:1チーム	未
11 南城市	1 ②	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R3	市産商品の売上増加を図るため、市内外のイベントにおいて市産商品のPR及び販売活動を行う。	南城市地域物産館における年間売上15%増(前年度比) 売上目標額 4,500万円以上	南城市地域物産館における年間売上16%増(前年度比)	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 ③	南城市まつり実行委員会支援事業	H28 ～ R3	南城市ファンを増加させリピーター獲得を図るため、南城市まつり実行委員会がまつりの開催に合わせて実施する市民と来訪者との交流促進に係る取組に要する経費を補助する。	市外からの参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	市外からの参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:93%	◎
11 南城市	1 ④	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。また、アーカイブを活用した観光誘客コンテンツについて、追加制作する。	文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上	文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数:965人	○
11 南城市	1 ⑤	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽へ向かう市道1号線に聖地の雰囲気合った暑さ対策のための休憩施設を設置する。	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	◎
11 南城市	2 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付けるものに対して支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:109.75%	未
11 南城市	2 ②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	乳用牛1頭あたりの生産乳量:8,917.9kg/年 乳質(脂肪率):3.98%	◎
11 南城市	3 ①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	二酸化炭素排出量の削減 防犯灯 62,901kg-CO2以上/年 削減 南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の完了	二酸化炭素排出量の削減 防犯灯 92,831kg-CO2/年 南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の完了	◎
11 南城市	4 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	・小学校:51.8% -3.4ポイント(県平均55.2%) ・中学校:45.7% -2.1ポイント(県平均47.8%)	未
11 南城市	4 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:86.3%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
11 南城市	4 ③	学習支援教材ソフト整備事業	R2 ～ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を高めるため、市内小中学校に整備された電子黒板で稼働する指導者用デジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	アンケート結果:90%	◎
11 南城市	4 ④	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	(1)児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 (2)教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	(1)アンケート結果:96.3% (2)アンケート結果:60.2%	○
11 南城市	5 ①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	学習会への参加人数 30人以上×2回	学習会への参加人数 79人×1回	○
11 南城市	5 ②	奥武区文化振興施設整備事業	R2 ～ R3	奥武区における伝統行事、芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の完了	—	繰
11 南城市	6 ①	南城佐敷・玉城IC周辺地区現況基礎調査事業	R3 ～ R3	南城佐敷・玉城IC周辺地区へバスターミナル整備を含めた一部の公共機能とまちに不足する機能を集約(確保)するために現況基礎調査を実施する。	現況基礎調査(測量業務、課題整理等業務)の完了	現況基礎調査(測量業務、課題整理等業務)の完了	◎
12 国頭村	1 ①	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R3	スポーツ合宿の実施増加を図るため、野球場電光掲示板の整備や投てき競技(ハンマー投げ、円盤投げ、砲丸投げ、やり投げ)の練習場(投てき場)を整備する。	・野球場電光掲示板工事の完了 ・投てき場整備実施設計の完了 ・投てき場整備工事の完了 ・投てき場備品購入の完了 ・陸上競技場トラック整備実施設計の完了	・野球場電光掲示板工事の完了 ・投てき場整備実施設計の完了 ・投てき場整備工事の完了 ・投てき場備品購入の完了 ・陸上競技場トラック整備実施設計の完了	◎
12 国頭村	2 ①	森林公園フィールド活用推進事業	R3 ～ R3	国頭村森林公園の利用者増加を図るため、公園内の展望台の整備及び天文台施設に天体観測機器を整備する。	・展望台建築工事実施設計の完了 ・展望台建築工事の完了 ・天体観測機器購入業務の完了	—	繰
12 国頭村	3 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	河川工事整備率 100%(890m/全体延長L=890m)	100%(890m/全体延長L=890m)	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	1 ①	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ R3	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	①PRイベントの参加者数 約11,000名以上	①PRイベントの参加者数:14,700名	◎
13 大宜味村	1 ②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R3	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	①ハブ咬傷被害:0件以下 ②ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 ③保護した猫の譲渡:80件以上	①ハブ咬傷被害:1件 ②ヤンバルクイナの生息率:33.3% ③保護した猫の譲渡:135件	△
13 大宜味村	1 ③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・累計河川工事整備率 90% (2,378m/全体延長2,600m)	—	繰
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0.0ポイント以上 中学校 2.4ポイント以上	・令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 2.3ポイント 中学校 -0.6ポイント	△
13 大宜味村	2 ②	地域支援員配置事業	H25 ～ R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	不登校に至らなかった児童生徒の割合 24%	未
13 大宜味村	2 ③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	講座受講者数:100名以上	講座受講者数:138名	◎
13 大宜味村	2 ④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童・生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	保護者に対するアンケート:100%	◎
13 大宜味村	3 ①	カラキ活用推進プロジェクト事業	H28 ～ R3	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催(年1回以上)	・挿し木苗の栽培管理の実施 ・鉢上げ作業の実施 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の実施 ・苗の配布実施 ・講習会の開催実施	◎
14 東村	1 ①	東村自然環境保全事業	R3 ～ R3	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、本村内での発生源調査及び土木的対策方法を検討し、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討完了	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討を行った結果を取りまとめた報告書を作成した。	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
14 東村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R3	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	アンケート:100%	◎
14 東村	3 ①	ハブ咬傷対策事業	R2 ～ R3	本村の主要観光施設である村民の森つつじ園利用者及び管理者の咬傷被害防止のため、令和2年度に実施した調査結果を基に、施設へ防蛇フェンスを設置する。	フェンス整備工事の完了	—	繰
14 東村	4 ①	災害備蓄品整備事業	R3 ～ R3	災害時における住民の安全確保を図るため、村内の避難所に備蓄食料を配備する。	備蓄食及び保存水の配備完了	備蓄食(1,827食)及び保存水(500mmペットボトル3,654本:1,827ℓ)の備蓄	◎
14 東村	5 ①	東村健康器具調査検討事業	R3 ～ R3	村民の健康増進を図るため、健康器具設置のための調査検討をする。	健康器具設置のための調査・検討完了	健康器具設置のための調査検討を行い、報告書作成完了した。	◎
15 今帰仁村	1 ②	教育環境充実事業	H25 ～ R3	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	①学習支援員 ・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 ①小学生 +0.8ポイント以上 ②中学生 -10.1ポイント以上 ②特別支援員 ・対象となる児童生徒の学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均回答率の差 ①小学生 -1.7ポイント ②中学生 -0.9ポイント ・アンケート結果:100%	△
15 今帰仁村	1 ④	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	アンケート結果:97.7%	◎
15 今帰仁村	1 ⑤	地域型就業意識向上支援事業	R2 ～ R3	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適應できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけるため、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:98%	◎
15 今帰仁村	1 ⑥	教育支援事業	R2 ～ R2	特別支援教育の体制整備を推進し特別支援教育の充実を図るため、巡回相談員や教育支援指導員を配置する。	対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:61%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	1 ⑦	教育相談事業	R2 ~ R2	児童生徒の不登校や問題行動等カウンセリング機能を充実を図る。	①不登校児童生徒の復帰率:4.0%以上 ②保健室、図書館、教育相談室等へ登校している児童生徒の教室復帰率できた割合:4.0%以上	不登校児童生徒の復帰率:6.0%以上	◎
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ~ R3	本村観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:84.7%	◎
15 今帰仁村	2 ②	観光力基盤強化事業	H24 ~ R3	今帰仁村の観光地としての認知度アップを図るため、本村を拠点に活動している「現代版組踊 北山の風」の公演や今帰仁まつり、ハーリー大会、今帰仁グスク桜まつり、運天港いちやり場まつりなどのイベントを実施する。 また、今帰仁村総合運動公園を拠点として古宇利島ハーフマラソンや高校駅伝を開催することで、民泊事業等村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,135人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:30,000人	・現代版組踊「北山の風」来場数:392人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:9,187人	未
15 今帰仁村	2 ③	観光地安全強化事業	H24 ~ R3	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件 注意喚起サイン等の作成・配置完了。	①交通整理員が配置された箇所における事故件数0件 ②注意喚起サイン等の作成・配置完了	◎
15 今帰仁村	2 ④	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ~ R3	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	全体計画における4.0%整備 (累積整備率58.6%)	全体計画における整備率:4.0% (累積整備率64.0%)	◎
15 今帰仁村	2 ⑤	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ~ R3	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	ガイドによる案内者数 11,500名	ガイドによる案内者数:5,407人	未
15 今帰仁村	2 ⑥	景観形成強化事業	H24 ~ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	・工事の完了 (仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置)	-	繰
15 今帰仁村	2 ⑦	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ~ R3	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い新規教育民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。	令和4年度の民泊客(予約人数) 16,000人(70校) 内訳:新規30校、リピーター40校 ・リピート校の増加 ・満足度向上 ・2泊5食プランの増加 ・関連団体との連携強化	民泊次年度予約数:14,201人	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2 ⑧	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R3	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光である。宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	・宿泊体験プログラム創出: 宿泊体験15件の創出	宿泊体験プログラムの創出件数:15件	◎
15 今帰仁村	3 ①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛ブランドかを推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 104%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:103%	○
16 本部町	1 ①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブによる咬傷被害件数0件	ハブによる咬傷被害件数2件	未
16 本部町	1 ②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	闘牛・闘山羊大会来場者数:742人 もとぶ元気夕市来場者数:8,784人以上	闘牛・闘山羊大会来場者数:0人 もとぶ元気夕市来場者数:0人	未
16 本部町	2 ①	農水産業担い手支援住宅整備事業	H31 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	・建築工事の完了	完了	◎
16 本部町	3 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.9ポイント以上 中学校 -4.1ポイント以上	令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -9.4ポイント 中学校 -4.22ポイント	未
16 本部町	3 ②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:92%	◎
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R3	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数:0件	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数:0件	◎
17 恩納村	1 ②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	観光客等にアンケート:86%	◎



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
17 恩納村	1 ③	あしびなー施設整備事業	H29 ～ R3	地域の伝統芸能を保存継承し観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は新築工事を行う。	・新築工事2年目の完了	工事の完成	◎
17 恩納村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケート:94.7%	◎
17 恩納村	2 ②	学校ICT環境整備事業	R3 ～ R3	児童生徒の学習環境を向上させるためのICT機器を村内の小中学校に整備する。	村内の小中学校(6校)における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの導入	村内の小中学校における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの導入	◎
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H23 ～ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数(8,900人)	未
18 宜野座村	1 ②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R3	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,646人以上) ・お出かけ公演対象者数(2,756人以上)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(925人以上) ・お出かけ公演対象者数(329人以上)	未
18 宜野座村	1 ③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光人材の育成等を行う。	・宜野座村の観光入客数(12万人)	・宜野座村の観光入客数(13.7万人)	◎
18 宜野座村	1 ④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R3	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	美ら島花火大会集客数(11,200人/2日間)	美ら島花火大会集客数(562人/2日間)	未
18 宜野座村	1 ⑥	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R3	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:82%	◎
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校5年・6年(算数)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上 小学校5年(算数):(-4.2) 6年(算数):(-6.3)	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	2 ②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上)  中学校2年(国語・数学・英語)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上)  中2国語(-0.9) 中2数学(-2.8) 中2英語(-1.6)	未
18 宜野座村	2 ③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:100%	◎
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	・エコファーマー認定数 3名 ・エコ農産物販売目標 116t	・エコファーマー認定数 0名 ・エコ農産物販売目標 65t	未
18 宜野座村	3 ②	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R3	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。	令和3年さとうきび生産量 5,084t	令和3年さとうきび生産量 5,348t	◎
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R3	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	・観光地における不法投棄件数:10件以下/年	・観光地における不法投棄件数:0件	◎
18 宜野座村	4 ②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R3	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	◎
18 宜野座村	5 ①	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R3	企業の誘致を図り、定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	①県内外ITイベントへのPRブースへの来場者数 250名 ②宜野座村への招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社	①県内外ITイベントへのPRブースへの来場者数:43名 ②宜野座村への招聘セミナー参加者/企業数:18名/11社	未
18 宜野座村	7 ①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	アンケート:89%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
19 金武町	1 ①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う。	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	プロチームキャンプの受入:4チーム	◎
19 金武町	1 ②	金武町観光振興等推進事業	H31 ～ R3	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。	①イベントの実施 ○イベントの来場者数:34組68人 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人	①イベントの実施 ○イベントの来場者数:188人 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:194人	未
19 金武町	1 ③	水辺をつなぐ遊歩景観推進事業	R2 ～ R3	金武町の観光名所である金武大川の魅力向上を図るため、湧水を活用した大川児童公園と湧水の流末の親水広場をつなぐ遊歩道を整備する。	整備工事の完了	整備工事の完了	◎
19 金武町	1 ④	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R3	金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増を図るため、周辺環境整備等の機能高度化を実施する。	○土木実施設計の完了 ○建築実施設計の完了	○土木実施設計の完了 ○建築実施設計の完了	◎
19 金武町	2 ①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R3	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童・生徒の就職意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	①就業率10.14%以上 ②キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①就業率:5.20% ②アンケート結果:99%	○
19 金武町	3 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	①小学校児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上 ②中学校英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	①小学校児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差:-1.2%(82.5%) ②中学校英語検定3級において、校内受験者数の合格率:47.4%	◎
19 金武町	3 ②	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	アンケート結果:100%	◎
19 金武町	3 ③	特別支援教育支援事業	H24 ～ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:87%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
19 金武町	3 ④	デジタル教科書購入事業	R2 ～ R3	令和2年度の教科書改訂に伴い、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入し生徒の学習意欲の向上を図る。	中学校教科書改訂に伴い、デジタル教科書購入し授業改善や障害等により教科書を使用して学習することが困難児童生徒の学習上の支援を実施する。	支援の実施	◎
19 金武町	3 ⑥	演奏活動推進事業	R2 ～ R3	ひとり親家庭が多く、高額な楽器に触れる機会の少ない児童・生徒も演奏活動を通して地域活動に積極的に参加・貢献することができるよう、吹奏楽部の活動が活発な小中学校に吹奏楽器を整備する。	金武小学校吹奏楽部に楽器を整備完了	金武小学校吹奏楽部に楽器を整備完了	◎
19 金武町	4 ②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	R2年度実施事業に対するアンケートにおいて、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)。R3年度実施事業についても、後年度アンケートを実施する	アンケート未実施	未
20 伊江村	1 ①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R3	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲機を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による被害件数0件	・ハブ咬傷による被害件数0件	◎
20 伊江村	2 ①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:100%	◎
20 伊江村	3 ①	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	令和3年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R3年 33,000人	“祭り中止・実績なし”	未
20 伊江村	3 ②	観光地クリーン事業	H27 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート:100%	◎
20 伊江村	3 ③	観光誘客整備事業	H26 ～ R3	村の観光振興を図るため、青少年旅行村リニューアル基本設計業務、観光地機能安全整備業務、その他イベント等による観光誘客を行う。	①青少年旅行村来場者数 R3:28,000人 ② ・本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①青少年旅行村来場者数 R3:5320人 ②アンケート:100%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
20 伊江村	4 ①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小学校、中学校ともに沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る	○小学校5年 国語-8 算数-11 ○小学校6年 国語-10 算数-7.9 ○中学校1年 国語-3.3 数学+12.5 英語+10.7 ○中学校2年 国語+9 英語+3.1 数学-8	未
20 伊江村	4 ②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R3	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:90.3%	◎
20 伊江村	5 ①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R3	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:97%	◎
20 伊江村	6 ①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R3	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	実施計画・実施設計の完了	今年度は整備予定地の実施設計、一部分筆業務や説明版に必要なVRコンテンツ等の業務を行った。	◎
20 伊江村	7 ①	伊江島はにくすに施設防災機能強化事業	R3 ～ R3	本村の玄関口であるはにくすに施設の防災設備の機能強化を行うことで、安心安全な施設環境の整備及び観光振興を図る。	・実施設計の実施完了 ・設備工事の実施完了	・実施設計の実施完了 ・設備工事の実施完了	◎
20 伊江村	8 ①	伊江村屋内体育施設機能強化事業	R3 ～ R3	体育施設の備品購入による機能強化を行うことで、スポーツ合宿の誘致を図る。	備品購入完了	備品購入完了	◎
20 伊江村	9 ①	伊江村墓地団地造成事業	H29 ～ R3	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成実施設計を行う。	・実施設計の完了	・実施設計の完了	◎
20 伊江村	10 ①	伊江村歴史文化継承事業	R3 ～ R3	「伊江島考察史」の印刷製本及び書籍刊行を行うことで、本村における歴史や文化の継承を図る。	・郷土地域資料利用者へのアンケート調査で本村の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	調査未実施	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
20 伊江村	11 ①	ICT支援員配置事業	R3 ～ R3	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 小1～小3 87.8% 小4～中3 70% 平均 77.2% ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(71.4%)	○
20 伊江村	12 ①	外国語指導員派遣事業	R3 ～ R3	幼稚園児や小学生の英語への興味・関心を高めるため、幼稚園と小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	・児童生徒への英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート:96%	◎
20 伊江村	13 ①	伊江村防災体制機能強化事業	R3 ～ R3	公民館等の収容避難所施設の窓ガラスに飛散防止フィルムを設置し防災機能の強化を図ることで、住民が安心して暮らせる環境整備を行う。	・設置完了	・設置完了	◎
21 読谷村	1 ①	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプ等の誘致を図るため、スポーツ団体等への誘致活動を行う。また、観光誘客を図るため、キャンプチーム本拠地での誘客イベント及びキャンプ期間中の集客イベントを行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 29件以上 ・イベント観客数74,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 23,700人以上	・スポーツコンベンション誘致件数 11団体 ・イベント観客数 28,625人 ・キャンプ期間中の来場者数 3,906人	未
21 読谷村	1 ②	危険生物駆除事業	H25 ～ R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:4件	未
21 読谷村	1 ③	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	メール受信件数:726件	メール受信件数:410件	未
21 読谷村	1 ④	ゆんたんざウツイムチ推進事業	R2 ～ R3	本村の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	・第3次読谷村観光振興基本計画の策定完了	・第3次読谷村観光振興基本計画の策定完了	◎
21 読谷村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合 80%以上	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合 91%	◎
21 読谷村	3 ①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ R3	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開する。	HP(データベース)アクセス数:800件	HP(データベース)アクセス数:5,646件	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
21 読谷村	3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ～ R3	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。 今年度は用地を購入する。	用地購入の完了	用地購入の完了	◎
21 読谷村	5 ①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R3	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	・陶器市の来場者数 14,776人 ・物産展売上金額 73,400円 ・展示会商談数 17件	・陶器市の来場者数 - ・物産展売上金額 70,800円 ・展示会商談数 47件	△
21 読谷村	6 ①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ～ R3	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地活用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	◎
21 読谷村	6 ②	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)基本設計策定事業	R3 ～ R3	瀬名波通信施設跡地の土地活用を促進するため、非農用地部分の基本設計を行う。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
21 読谷村	6 ③	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」利活用促進事業	R3 ～ R3	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」の今後の土地利用の安定化を図るため、当該地区の分筆・合筆に伴う地籍測量を行う。	分筆・合筆等の登記申請資料の完了 約20.3haの分筆	分筆・合筆等の登記申請資料の完了 約20.3haの分筆	◎
22 嘉手納町	1 ①	観光プロモーション事業	R3 ～ R3	本町の観光PRを効果的に展開していくため、プロモーションツールを制作することにより観光情報発信体制を整備し、観光客の誘客を図る。	・観光PR映像の完成 ・観光パンフレットの完成 ・観光ポスターの完成	・観光PR映像の完成 ・観光パンフレットの完成 ・観光ポスターの完成	◎
22 嘉手納町	1 ②	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・比謝川緑地広場整備工事の完了	・比謝川緑地広場整備工事の完了	◎
22 嘉手納町	1 ③	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	建築工事・外構工事の完了	建築工事・外構工事の完了	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学習内容の定着状況に応じた学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差  小学校:-4.1ポイント以上 中学校:-7.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差  小学校:+5.1ポイント 中学校:-3.8ポイント	◎

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	2 ②	英語力強化事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、英語に親しむ環境をつくるとともに、実用的な英会話の授業を実施する。	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。  (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合 : 14.0%以上  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差+4.6ポイント以上	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったかを含め、アンケートを実施。 【英会話の授業が楽しいと回答した割合:80%】  (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合 : 12.2%  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差:+4.7ポイント	○
22 嘉手納町	2 ③	ICT活用事業	H24 ～ R3	授業へのICT機器活用の促進及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT指導員(パソコン指導員)を配置し、教員への授業でのICT活用に向けた支援や教育のICT化に向けた支援を行う。	①教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 内容項目例:「ICT機器活用が増えた」「ICT機器を利用した授業における機器操作が行いやすくなった」等 ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業は分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含めアンケートによる効果を検証する。	①教員にアンケートを実施 【ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できると答えた割合:89.6%)】  ②児童生徒にアンケートを実施 【ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:86%】	◎
22 嘉手納町	2 ④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置する。	不登校出現率 2.3%以下	不登校出現率:2.1%	◎
22 嘉手納町	2 ⑥	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートを実施。 【学校生活や学習上の困り感が改善されたと回答した割合:90%】	◎
22 嘉手納町	3 ①	雇用促進事業	H25 ～ R3	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上  ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:3.4%以上  ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	①相談者のうち就職が決まった人数:7人  ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.0%	未



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	4 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の長寿命化を図る必要があることから、町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない循環のシステムを構築する。	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 665t以上/年	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 708.8t/年	◎
22 嘉手納町	5 ①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R3	CO2の排出量を削減するため嘉手納町公共施設の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	R3年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 【嘉手納スポーツドーム】 ・CO2排出削減量 44,846(kg-CO2/年) 【嘉手納町葬祭場】 7,280kg-CO2/年の削減	【嘉手納スポーツドーム】 ・CO2排出削減量 44,846(kg-CO2/年) 【嘉手納町葬祭場】 ・CO2排出削減量 7,280kg-CO2/年	◎
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。	【北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪))】 【観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数】 ■R03年度目標値:150,000回 ・R02年度:約65,000回(4月～9月) ・H31年度:148,437回(1年) ・H30年度:82,240回(1年)	北谷町修学旅行発信等強化業務:修学旅行フェア0ヶ所 R03年度目標値:118,504回	未
23 北谷町	1 ②	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を運行するコミュニティバスの実証運行を行い、本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・地域公共交通会議にて、令和4年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。 ・収支率25%以上を目指す。	・アンケート結果:85.5% ・地域公共交通会議にて、令和4年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。 ・収支率:5.2%	○
23 北谷町	1 ③	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	サンセットビーチ改良工事のうち、護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工、養浜工の竣工。	—	繰
23 北谷町	1 ④	パークゴルフ場整備事業	R3 ～ R3	新たなアクティビティの創出による観光誘客と住民の健康増進を図るため、パークゴルフ場を整備する。	パークゴルフ場整備工事の竣工。 備品購入、納品。	—	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R3	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務)  中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。  中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差 0.4ポイント以上	・アンケート結果:82.3%  ・中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差:-0.8ポイント	△
23 北谷町	2 ②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R3	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:81.7%	◎
23 北谷町	2 ③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.3ポイント以上 中学校 △0.6ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.7ポイント 中学校 △2.7ポイント	△
23 北谷町	2 ④	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 9件以内 中学校 15件以内	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 ・小学校 18件 ・中学校 10件	△
23 北谷町	3 ①	跡地利用推進事業	H24 ～ R3	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・整備計画(案)の作成  ・跡地利用基本計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上  ・跡地利用整備計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上  (桑江第一タンクファーム) ・調査内容報告書の作成  (インダストリアル・コリドー) ・調査内容報告書の作成	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・整備計画(案)の作成完了  アンケート結果:89.4%  (桑江第一タンクファーム) ・調査内容報告書の作成完了  (インダストリアル・コリドー) ・調査内容報告書の作成完了	◎
23 北谷町	4 ①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R3	北谷町沿岸には豊かなリーフや自然海岸が存在し、本島中南部西海岸では非常に貴重になりつつある沖縄の原風景が残されている。しかし、この自然の豊かさを評価するための基礎情報が不足している。そこで本事業では、残された自然を保全し活用するために必要な沿岸に生息する生物の全体把握を行うことを目的とする。	北谷町沿岸生物調査報告書(仮称)の作成	北谷町沿岸生物調査報告書(仮称)の作成完了	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
23 北谷町	5 ①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 8,138㎡(達成率100%) ※達成率:先行取得目標面積(83,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得目標 7,560㎡(達成率92%)	○
24 北中城村	1 ①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験交流人数:580人以上	体験交流人数:242人	未
24 北中城村	1 ②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・青年エイサーまつり来場者数:7,400人 ・北中城まつり来場者数:24,000人	・青年エイサーまつり来場者数:5,774人 ・北中城まつり来場者数:9,164人	未
24 北中城村	1 ③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	新型コロナウイルスの収束を見据え、村内への観光誘客を回復するため、多言語による観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施する。	・観光案内所利用者数:14,000人 ・PRブース来場者数:1,700人	・観光案内所利用者数:9,689人 ・PRブース来場者数:2,485人	○
24 北中城村	1 ④	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を行う。	納骨堂整備の完了	納骨堂整備の完了	◎
24 北中城村	1 ⑤	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ観光周遊バスによる実証実験を実施する。	年間利用者数:5,000人	年間利用者数:6,986人	◎
24 北中城村	1 ⑥	観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにデータの分析を行う。	Free Wi-Fiアクセス数 8,500/月	Free Wi-Fiアクセス数 2,300/月	未
24 北中城村	1 ⑦	多言語観光案内サイン整備事業	H30 ～ R3	新型コロナウイルス収束後を見据え、今後多くの観光客を迎え入れる環境を整備するため、周辺案内板を整備する。	周辺案内板の設置完了:3基	周辺案内板の設置完了:3基	◎
24 北中城村	2 ①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	全体用地取得率:100%	全体用地取得率:96.1%	○
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の見直しを行う。	跡地利用計画(素案)の検討に係る調査報告書の作成	跡地利用計画(素案)の検討に係る調査報告書の作成の実施	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
24 北中城村	2 ③	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を推進するため、跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討及び地権者意向調査を実施する。	・跡地に発生する空地部分の有効活用策の作成 ・地権者意向調査の整理	・跡地に発生する空地部分の有効活用策の作成の実施 ・地権者意向調査の整理完了	◎
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	就業率5%以上	就業率:1.4%	未
24 北中城村	3 ②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験を実施する。	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	アンケート調査結果:88%	◎
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備を支援する。	指導した農家の年間出荷額:3,814千円以上	指導した農家の年間出荷額:5,639千円	◎
24 北中城村	4 ②	地域ブランド構築事業	H24 ～ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	パッションフルーツピューレの製造:200袋以上(1袋500g)	パッションフルーツピューレの製造:116袋	未
24 北中城村	4 ③	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R3	耕作放棄地の再生に向けて、医食同源・農福連携・健康長寿への取組みに資するエリアを整備する。	地域協定書(仮称)の締結	地域協定書(仮称)の合意形成	未
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英語検定の受験者数:516人	英語検定の受験者数:224人	未
24 北中城村	5 ②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した、小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	前期:24名中14名 後期:22名中16名	未
24 北中城村	6 ①	琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ R3	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。	・調査報告書(旧跡編)の発刊及び関係機関等へ配布 ・WEB公開による年間アクセス数:660回以上 ・報告書(祭祀編)利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。:80%以上	・調査報告書(旧跡編)の発刊及び関係機関等へ配布 ・アクセス数:1,194回 ・アンケート結果:95%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
24 北中城村	7 ①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:93.7%	◎
24 北中城村	7 ②	学習支援員配置事業	H27 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、公立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(12.0%以下) 中学2年生:数学(32.2%以下) ○無答率 小学5年生:算数(4.5%以下) 中学2年生:数学(11.1%以下)	○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(16.2%) 中学2年生:数学(41.2%) ○無答率 小学5年生:算数(6.3%) 中学2年生:数学(9.6%)	未
24 北中城村	7 ③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し航空運賃を補助する。	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:92.7%	◎
24 北中城村	7 ④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R3	県外大会に参加するにあたり、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	派遣された子ども達の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業の在り方について検証する。	・アンケート結果:100%	◎
24 北中城村	8 ①	健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ R3	本村の健康課題にアプローチするコロナ対応型健康イベントを実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げる。	・健康イベントへの総参加者数:150人 ・ウェルネスツアー総参加者数:90人	・健康イベントへの総参加者数:397人 ・ウェルネスツアー総参加者数:71人	○
25 中城村	1 ①	省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため、公共施設等の照明器具にLEDを導入する。	村立小学校体育館の照明機器にLEDを整備	村立小学校体育館照明をLEDに整備の完了	◎
25 中城村	2 ①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②吉の浦公園休憩所解体及び遊具整備の実施 ③吉の浦会館LED照明整備の実施	◎
25 中城村	2 ②	観光誘客促進事業	H25 ～ R3	地域の伝統芸能の継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクションマッピング」イベントの開催する。	①観光誘客 プロジェクションマッピングイベント来場者 9,000人(2日間) ②伝統芸能の継承 伝統芸能団体出演者数:38人。	-	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
25 中城村	2 ③	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・キャンプ見学者数:8,480人 530人/1日あたり × 16日間(2チーム)	・キャンプ見学者数:0人	未
25 中城村	2 ④	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観となっているか: 未実施	未
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。 また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:95.5% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:99%	◎
25 中城村	4 ②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行う。 また、不登校など課題のある児童生徒の不登校の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率46%以上	①特別支援員の対応への満足度:96% ②不登校児童生徒復帰率:44%	○
25 中城村	4 ③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R3	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.8%以上	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-1.7%	◎
25 中城村	4 ④	子育て保育支援事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する子の保育園での生活の困難の改善を図るため、対象児を預かる保育園による保育士の加配に対する支援を行う。	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・保育園での生活の困難が改善されたか:90%	◎
25 中城村	4 ⑤	ひとり親家庭学童利用支援事業	H31 ～ R3	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含めひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	保護者アンケートで安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか:97%	◎
25 中城村	5 ①	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ～ R3	本村の歴史文化の継承を図るため、村内に所在する文化財等の調査・把握及び沖縄戦に関する記録保存を行い、出版物として刊行する。	・令和4年度に当該事業を総括する展示会を開催する。 見学者数:3,200人以上	・展示会未実施	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 ③	文化財整備事業	R3 ~ R3	太平洋戦争終了に伴い国内外から強制返還された沖縄県人約17万人のうちの約10万人が降り立った港跡地に建てられた戦後引揚者上陸碑は、現在の所在地が民有地になっていることから見学に支障をきたしている。そのようなことから、隣接する県管理地に移設して利活用を図っていく。	移設整備の完了	移設整備の完了	◎
25 中城村	5 ④	中城村地域多世代交流活性化事業	R3 ~ R3	伝統文化の振興及び継承促進を図るため、組踊の演舞及び継承等を行っている村内団体の活動を支援する。	公演を見てくれたお客さんが沖縄の伝統文化について理解が深まったか(80%以上)を含めアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。	来場者の沖縄伝統文化に対する理解度の向上アンケート(伝統文化の振興) 87%	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興環境整備事業	H30 ~ R3	本村で伝統的に栽培されている農作物の生産量の増加を図るため、栽培技術及び品質向上に向けた種苗の選抜や栽培方法の検討、試験栽培を行う。また、技術確立後は農家に対して技術の普及を行う。	・島にんじん間引き作業軽減に向けた播種方法及び品質向上に向けた栽培試験の実施 ・島だいこん栽培方法の違いによる発病の状況調査試験を実施する。 ・試験栽培の結果を基に、栽培指針の作成	・島にんじん間引き作業軽減に向けた播種方法及び品質向上に向けた栽培試験の実施 ・島だいこん栽培方法の違いによる発病の状況調査試験を実施する。 ・試験栽培の結果を基に、栽培指針の作成	◎
25 中城村	7 ①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ~ R3	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。	実施事業者との契約	-	繰
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ~ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか:100%	◎
26 西原町	1 ②	文化財環境整備活用事業	H25 ~ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺環境の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数110名	文化財巡り等イベント参加者数:119名	○
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ~ R3	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか:74.3%	○
26 西原町	2 ②	教育相談員配置事業	H24 ~ R3	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 31%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合:66.8%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
26 西原町	2 ③	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.1以上 算数 5.2以上 ・中学校 国語 -1.2以内 数学 3.2以上 英語 -0.2以内	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +3.6 算数 +3.3 ・中学校 国語 +4.9 数学 +5.1 英語 +1.4	◎
26 西原町	2 ④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を70%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数：92.5%	◎
26 西原町	2 ⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度：99.4%	◎
26 西原町	2 ⑥	中学校デジタル教科書整備事業	R3 ～ R3	学習内容の理解度を高め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書を整備する。	生徒にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	生徒にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合：96%	◎
26 西原町	3 ①	親子通園事業	H28 ～ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか：100%	◎
26 西原町	4 ①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	◎
26 西原町	5 ①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合50%以上	新規雇用割合43.7%	○



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
26 西原町	5 ②	地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ R3	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上(95%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。 ・高校生、大学生へのアンケートを実施し、郷土愛が醸成されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上:100% ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価:100%	◎
26 西原町	6 ①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	◎
26 西原町	7 ①	水難救助車整備事業	R3 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備完了(1台)	水難救助車の配備完了(1台)	◎
27 与那原町	1 ①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・スタンプラリーへの参加数 300人	・スタンプラリーへの参加数 133人	未
27 与那原町	1 ②	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境を整え観光振興を図る。	・アンケートにより「観光地としてふさわしい景観及び環境である」の回答 80%	・アンケートにより「観光地としてふさわしい景観及び環境である」の回答 81.6%	◎
27 与那原町	2 ①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ～ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.0ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	・小学校:県との差 -1.7ポイント 中学校:県との差 -2.6ポイント ・不登校児童生徒復帰率 31.8% ・特別支援教育支援員の対応への満足度 92.7%	△
27 与那原町	2 ②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R3	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手を派遣する。	・児童生徒へのアンケートにより「外国語への興味・関心が高まった」の回答 80%以上	・児童生徒へのアンケートにより「外国語への興味・関心が高まった」の回答 69.0%	○

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
27 与那原町	2 ③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ICT教育の環境を整備し、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合：80%以上	・児童生徒：ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 94.9% ・教員：ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合 100%	◎
27 与那原町	3 ①	ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師等を配置する認可保育園へ雇用経費の一部を助成する(上限50,000円/月)。	・看護師等を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	・0歳児待機児童解消数 3人	◎
27 与那原町	3 ②	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行うための特別支援保育支援員を配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケートにより「特別支援員の対応への満足度」が 80%以上	・対象となる園児の保護者へのアンケートにより「特別支援員の対応への満足度」が 95%	◎
27 与那原町	4 ①	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R3	沖縄県では、地理的な要因により台風の襲来、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。	ゴーヤー出荷量 2,230kg以上 マンゴー出荷量 4,510kg以上	ゴーヤー出荷量 130kg以上 マンゴー出荷量 2,664kg以上	未
27 与那原町	6 ①	新しい公共交通検討事業	H31 ～ R3	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握の完了	需要や課題等の実態把握 未完了	未
27 与那原町	7 ①	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R3	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での掲示板や床敷の表示板及び山頂までの散策路の整備を行い、登山者の安全を確保する。	散策路の一部整備完了	-	繰
27 与那原町	8 ①	親川拝所整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	親川拝所整備及び管理棟建築工事の完了	親川拝所整備及び管理棟建築工事の完了	◎
27 与那原町	9 ①	水難救助車整備事業	R3 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備完了(1台)	水難救助車の配備完了(1台)	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：80%以上	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：77.65%	○
28 南風原町	1 3	学力調査等事業	H24 ～ R3	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による公開授業を実施し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学1～2年：4科目/4科目 ②沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年 算数+3.3ポイント以上 ・中学1年 数学+0.9ポイント以上 ・中学2年 数学+0.9ポイント以上	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 (小学1～2年)2科目 ②沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年(算数)-0.1ポイント ・中学1年(数学)-0.2ポイント ・中学2年(数学)+0.2ポイント	未
28 南風原町	1 4	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	①小学校 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-3.7ポイント以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上	①小学校 (算数) -2.6ポイント ②中学校 (数学) -0.1ポイント (理科) 実施無し (英語) -2.2ポイント	△
28 南風原町	1 5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。また、特別な支援を要する児童生徒への適切な支援を行うため知能検査器具を購入する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートにおける特別支援員の対応への満足度 95.5%	◎
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童生徒の授業への興味・集中力を高めるためタブレットPC等やデジタル教科書の整備を図る。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合：80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合：80%以上	・教員にアンケート ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合：93.18% ・児童生徒にアンケート タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合：89.14%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	不登校児童生徒復帰率:18.4%	○
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+3.0ポイント以上	・中学校(英語)+0.85ポイント	未
28 南風原町	1 9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	アンケート結果:100%	◎
28 南風原町	1 10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:84%	◎
28 南風原町	1 11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	アンケート結果:93.14%	◎
28 南風原町	2 1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の間切番所跡に植樹されているフクギ並木から間切番所跡の石碑までの散策道の整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	アンケート結果:80%	◎
28 南風原町	2 2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	来客者数:1,136人	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 3	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド参加者:1,700人	参加者:149人	未
28 南風原町	2 4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	・陸上、サッカー等合宿利用者数:721人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:0人	未
28 南風原町	2 5	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び優れた特産品として認証した商品の販売数増加を図るため、町内事業者に対し商品開発やブラッシュアップ等の支援をし、「はえばる良品」の認定及び認定商品の販路開拓を図る。	・南風原良品の販売個数増 H28年度認定 びよびよシフォン4,486個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ473個 漉しカボチャ使って味わうスープの素2,100個 はえばるのまきもの95個 H29年度認定 ウォッチナー116個 SANGOくっしょん803個 沖縄キビまる豚1,260個	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン:5,082個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ:72個 漉しカボチャ使って味わうスープの素:2,100個 はえばるのまきもの:105個 ウォッチナー:70個 SANGOくっしょん:434個 沖縄キビまる豚:1,570個	○
28 南風原町	2 6	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・観光サイトアクセス数:207,500件	アクセス数:109,579件	未
28 南風原町	2 7	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R3	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画を基に津嘉山地区の実現化方策の策定を行う。	南風原南インターチェンジ周辺(津嘉山地区)実現化方策策定完了。	策定完了	◎
28 南風原町	2 8	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R3	本町の産業振興を図り実現可能な広域商業交流ゾーンの形成を検討するために、土地及び建物に関する権利調査や意向調査等を反映させた土地利用計画(案)を策定する。	南風原北インターチェンジ周辺土地利用計画(案)策定完了	策定完了	◎
28 南風原町	2 9	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)104%、(去勢)117%以上	牝:112.56% 去勢:111.97%	△
28 南風原町	3 1	はえばるリサイクルループ事業	H24 ～ R3	生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減することによりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、養豚用飼料や堆肥を生産する。また、生産された養豚用飼料ではえばる豚を育て販売することにより、食品廃棄物の循環を構築していく。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:29トン	年間資源化量:31t	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
28 南風原町	3 2	草木リサイクル事業	H24 ～ R3	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破砕し堆肥化する。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):435トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105トン	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):443t ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):90t	◎
28 南風原町	3 3	環境保全3R推進事業	R1 ～ R3	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食用油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 703トン 廃食用油の収集分別量18,317リットル	資源ごみの分別量:662t 廃食用油の収集分別量:21,941ℓ	◎
28 南風原町	3 4	低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27 ～ R3	温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げるため、町立幼稚園、小学校、中学校にある室内灯(蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを行う。	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1363灯)完了。	切り替え完了	◎
28 南風原町	4 1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:94%	◎
28 南風原町	4 2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	①園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ②園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果 ① 88% ② 100%	◎
28 南風原町	4 3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	0件	◎
28 南風原町	5 1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R3	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	見学者数10,500人	見学者数:980人	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
28 南風原町	5 2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	①参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ②参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:90%	アンケート結果 ①保護者:80% ②児童:100%	○
28 南風原町	6 1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	中学2年生の継続受診率60%(平成30年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	継続受診率:56.6%	○
28 南風原町	7 1	水難救助車整備事業	R3 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備完了(1台)	配備完了	◎
29 渡嘉敷村	1 ①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R3	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①年間入域観光客数 52,515人 ②アンケート結果:80%	△
29 渡嘉敷村	1 ②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:92%	◎
29 渡嘉敷村	1 ③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R3	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会等への支援や、修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会への支援を行う。	①年間入域観光客数 85,300人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・冬季(11月～3月)20,394人 ②修学旅行受入校数 10校以上/年	①年間入域観光客数:52,515人 ②修学旅行受入校数:0校	未
29 渡嘉敷村	1 ④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R3	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	水難死亡事故:0件	◎
29 渡嘉敷村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃の半額を補助する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:99%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	2 ②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	アンケート結果:100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+3.1ポイント以上	県と村の平均正答率差: +4.7ポイント	◎
29 渡嘉敷村	3 ②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、運賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:78%	○
29 渡嘉敷村	3 ③	家庭教育支援事業	H28 ～ R3	村内に在籍する小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備する。	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。	全国と本村の平均点の差: -41点	未
29 渡嘉敷村	4 ①	渡嘉敷村低炭素な村づくり推進事業	R2 ～ R3	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、村内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを実施する。	・村内防犯灯、街灯のLED化工事 ・撤去する防犯灯の決定 ・地球温暖化防止対策の寄与の観点からCO2排出削減に繋げていく。 省電力量「7.9%」比較 年間CO2排出量「4.3%」比較	・村内防犯灯、街灯のLED化工事:完了 ・撤去する防犯灯の決定:完了 ・地球温暖化防止対策の寄与の観点からCO2排出削減に繋げていく。(省電力量「7.9%」比較・年間CO2排出量「4.3%」比較):完了	◎
30 座間味村	1 ①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R3	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー等を配置する。	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	◎
30 座間味村	1 ②	座間味村ががんばる観光支援事業	H24 ～ R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	入域観光客数112,000人	入域観光客数:50,615人	未
30 座間味村	1 ③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	①観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①アンケート結果:80.2% ②アンケート未実施	未



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
30 座間味村	1 ④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	戦跡等の周辺環境整備の完了	—	繰
30 座間味村	1 ⑤	座間味村ウェルカム・パーク整備事業	R1 ～ R3	座間味港背後地において、環境省による博物展示施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウェルカム・パーク」を整備する。	ウェルカム・パークの整備工事の完了	—	繰
30 座間味村	1 ⑥	座間味村観光イベント施設整備事業	R1 ～ R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	ステージ屋根設置、歩道整備の完了	ステージ屋根設置、歩道整備の完了	◎
30 座間味村	1 ⑦	阿嘉地区観光道路整備事業	H26 ～ R3	観光客の多様なニーズに対応するため、地域特性を活用した魅力ある山林観光道路を整備する。	阿嘉地区観光道路の整備完了 整備延長L=350m	—	繰
30 座間味村	2 ①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R3	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	アンケート調査結果:99.1%	◎
30 座間味村	2 ②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	アンケート調査結果:82.0%	◎
31 粟国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する:100%	◎
31 粟国村	1 ③	ハブ対策事業	R2 ～ R3	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	・ハブ咬傷被害:0件	・ハブ咬傷被害:0件	◎
31 粟国村	1 ④	照喜名原地区整備事業	H27 ～ R3	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	年間利用者:900人	年間利用者数:46人	未
31 粟国村	2 ②	学力向上支援事業	H27 ～ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:2ポイント以上 中学校:3ポイント以上	小+1.05ポイント 中+1.1ポイント	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
31 粟国村	2 ③	児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ R3	島外のひととの競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する:92%	◎
31 粟国村	2 ④	粟国村小学校3・4年生副読本制作事業	R3 ～ R3	児童一人ひとりが粟国村の産業・文化等に興味を持ち、副読本の活用により地域社会を学べる環境づくりを確保するために副読本を制作する。	副読本の制作 作成予定数:200部  配布予定 令和4年度	副読本の制作:200部	◎
31 粟国村	3 ①	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ R3	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する:96%	◎
31 粟国村	3 ②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R3	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両航走路利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する:87%	◎
31 粟国村	3 ③	子育て支援事業	R2 ～ R3	子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設や公園等を整備する。	新設公園1箇所 既存公園遊具更新1箇所の整備工事の完了	新設公園1箇所 既存公園遊具更新1箇所の整備工事の完了	◎
31 粟国村	3 ④	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業	R2 ～ R3	慰霊碑関係者の高齢化及び減少が急速に進行する中で、沖縄戦の歴史を後世に伝え続け、平和の大切さを育むことを目的とし、慰霊碑の環境整備を行う。	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事の完了	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事の完了	◎
31 粟国村	3 ⑤	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R3	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	粟国村への観光入域者数:2,900人以上	粟国村への観光入域者数:980人	未
31 粟国村	4 ①	集出荷場施設整備事業	R3 ～ R3	粟国村の特産品である農作物の円滑な出荷を可能にするため、集出荷場の機能強化を行う。	・「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入。 ・「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保:1名	・「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入完了 ・「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保:1名	◎
32 渡名喜村	1 ①	環境保全・美化推進事業	H24 ～ R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:86%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
32 渡名喜村	2 ①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎
32 渡名喜村	4 ①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ R3	本村の貴重な文化財を住民や観光客へ紹介し、島の文化の振興に寄与するため、その発信源となる村多目的拠点施設内歴史民俗資料館に展示品についてレイアウト等の整備を行う。	・展示制作工事(2工区)の完了 ・工事施工監理業務の完了 ・ガイダンスシステム業務の完了 ・収蔵品管理業務の完了	-	繰
32 渡名喜村	5 ①	渡名喜村防災行政無線デジタル化整備事業	R3 ～ R3	既存のアナログ防災行政無線を新方式のデジタル方式へ更新し、住民や観光客等に向けた災害情報及び避難情報等の防災情報伝達体制を強化する。	防災行政無線機器のデジタル化整備完了	-	繰
33 南大東村	1 ①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を2年に1度使用料として折半する。	集団検診受診率35.8%以上。	集団検診受診率:34.9%	○
33 南大東村	1 ②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃がん及び乳がん(マンモグラフィ)検診受診者の渡航費を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	支援率:100%。	◎
33 南大東村	1 ③	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅25.9ポイント以上。	縮小幅:1.4ポイント	未
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客を対象にアンケート:65%	○
33 南大東村	2 ②	観光案内看板整備事業	R3 ～ R3	観光案内の看板が未整備で、観光地への誘導が不十分であることから、各所に案内看板を設置し観光客の受入環境を整備する。	観光案内板の設置完了:22基	-	繰
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R3	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	児童生徒へアンケート:100%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
33 南大東村	4 ①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ R3	本村には、葬祭場がなく、葬儀に関しては各家庭で行う習慣があるが、近年は集合住宅での定住者も増えており、時代的な背景や生活形態の変化から簡易葬祭場の整備が望まれている。併せて納骨堂の整備や待合室、駐車場など一体的な複合施設を整備することにより利用者への利便性の向上と管理コストの低減が図られるため複合型施設整備に向けた基本計画を策定する。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事、備品購入完了。	-	繰
33 南大東村	5 ①	循環型農業推進事業	R3 ～ R3	本村はサトウキビ作農業を主体としているが、畜産農家が少なくなどで、堆肥原料の確保が課題となっていることから、台風等で折損、倒木した防風・防潮林を破碎・チップ化するとともに、村内の自然池で大量繁殖している外来種の水草・泥炭等を除去して、破碎チップと水草等を混合し堆肥化することで、土壌改良による農業生産の向上と、暴風・防潮林帯の保全、自然池の環境保全を図る。	水草除去装置(浮き丸)1機及び木材破碎機一式購入	-	繰
33 南大東村	6 ①	大池周辺自然観察施設整備事業	R3 ～ R3	南大東島の大池周辺に多数生息している特別天然記念物をはじめとする動植物や島外から飛来する野鳥等を生態観察する施設がないため、自然観察施設の整備により、大池のオヒルギ群落等の希少な野生動植物種の保全と大池の景観保全を図り新たな観光資源としての機能向上を図る。	設計業務及び監理業務、建築工事の完了。	-	繰
34 北大東村	1 ②	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:88%	◎
34 北大東村	2 ①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R3	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・令和2年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	・令和2年度沖縄県学力到達度調査における県平均以上の正答率 ①(県平均55.2%)：村平均45.5% ②(県平均47.8%)：村平均52.9%	△
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R3	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
34 北大東村	3 ②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R3	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	アンケート結果:93%	◎
34 北大東村	3 ③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R3	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	①渡航費支援が必要な人への支援率:100% ②心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①支援率:100% ②アンケート結果:100%	◎
34 北大東村	4 ①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	①村一周海岸道路の植樹環境整備(植樹工事等の完了:350m) ②魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	①村一周海岸道路の植樹環境整備:完了 ②アンケート結果:88%	◎
34 北大東村	5 ①	北大東島歴史的情報発信環境整備事業	R3 ～ R3	国内でも稀な歴史や文化が育まれた当時の生業を感じられる展示物等を整備し観光誘客を図る。	・歴史的情報発信環境整備	完了	◎
34 北大東村	6 ①	子育て環境整備事業	R3 ～ R3	子育て世代を含む人口流出が大きな課題となっており、子ども達が安全に遊べる遊具を整備することで、子育て世代の満足度を向上させる。	・公園遊具の撤去及び整備	-	繰
34 北大東村	7 ①	土づくり推進事業	R3 ～ R3	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成(120圃場)	-	繰
34 北大東村	8 ①	緊急車両(消防車)導入事業	R3 ～ R3	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	・緊急車両(消防車)の導入	-	繰
34 北大東村	9 ①	北大東村観光基本計画策定事業	R3 ～ R3	北大東島周辺の漁場や特異な文化・趣きのある観光メニューの開発を行い、観光振興を図る。	・観光需要調査及び実施計画等を含めた観光基本計画の策定	-	繰
35 伊平屋村	1 ①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 4,987人以上	民泊利用者数 381人	未
35 伊平屋村	1 ②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め:80%	◎

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	1 ③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 13,315人以上	村内入域観光客数 11,925人	○
35 伊平屋村	1 ④	公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定天然記念物の念頭平松がある念頭平松平和公園の整備を行い、利便性を確保する。	広場工事 完了 東屋撤去 完了 駐車場・園路工事 完了 修景植栽工事 完了 園路仕上工事 完了 防風緑陰植栽工事 完了	-	繰
35 伊平屋村	1 ⑤	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	・展示ケースの完成 ・特別展示会の実施 ・賀陽城跡案内板の設置	・展示ケースの完成 ・特別展示会の未実施 ・賀陽城跡案内板は未設置	△
35 伊平屋村	1 ⑥	ポーターミナル機能強化事業	R2 ～ R4	島の玄関口である前泊港ポーターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観および施設の利便性向上を図る。	・電源供給設備新設工事の完了 ・設計業務の完了	-	繰
35 伊平屋村	2 ①	病害虫防除事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	・さとうきびの生産量 5,277トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日 以内	さとうきびの生産量 4,282トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 1.08匹/日	○
35 伊平屋村	2 ②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 107%	◎
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R3	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 300名	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 15名 ③来場者数 0名	△
35 伊平屋村	3 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -5ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -4.3ポイント以上	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか:100% ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) +0.9ポイント 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -7.9ポイント	△

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ③	英語学習支援事業	H25 ～ R3	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか:100%	◎
35 伊平屋村	3 ④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか:100%	◎
35 伊平屋村	3 ⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか:53%	未
35 伊平屋村	3 ⑥	学校給食機能強化事業	R3 ～ R4	学校給食の安心安全で安定的な提供を行い、児童生徒の心身の健康保持を支援するため施設のドライ運用化と機能強化を図る。	実施設計業務の完了 給食配送車の納車	-	繰
35 伊平屋村	4 ②	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか:98%	◎
35 伊平屋村	4 ③	伊平屋村救急体制強化事業	R3 ～ R3	住民及び観光客等の安心安全を確保するため、消防団活動及び防災体制の機能強化を図る。	緊急車両(消防車)1台の導入完了	緊急車両(消防車)1台の導入完了	◎
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地として景観形成を図るため、観光施設等の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	アンケート結果:83.9%	◎
36 伊是名村	1 ④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品などの修復・復元を行う。	旧蔵品を活用した祭事来場者数:250人以上 アンケート調査:満足度80%以上	旧蔵品を活用した祭事来場者数:72人 アンケート調査:75%	未
36 伊是名村	1 ⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	アンケート調査:75%	○
36 伊是名村	1 ⑨	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R3	地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境基本計画策定完了	-	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	島民に対し、フェリー自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:93.2%	◎
36 伊是名村	2 ②	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R3	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	建築工事に係る周辺外構整備の完了	-	繰
36 伊是名村	2 ③	子育て環境づくり整備事業	R3 ～ R3	子供から大人までを対象とした遊具及び健康器具を整備し、子育て親子同士や世代間の交流を促進させる。	・実施設計完了 ・整備工事完了	・実施設計完了 ・整備工事完了	◎
36 伊是名村	3 ②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種教育活動への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	アンケート結果:93%	◎
36 伊是名村	3 ③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担軽減が図ることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:91%	◎
36 伊是名村	3 ⑤	学習支援事業	H24 ～ R3	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	令和2年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 ・小学校:-11.4ポイント以上 ・中学校:-1.1ポイント以上	令和2年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 ・小学校:-16.5ポイント ・中学校:-14.0ポイント	未
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費及び海上輸送費を支援する。	さとうきびの単収:5,500kg	さとうきびの単収:6,069kg	◎
36 伊是名村	4 ②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ R3	優良繁殖雌牛を導入する農家に対し、導入費用の一部を助成し、飼養頭数増加と農家経営の安定化に向けた取組を推進する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:108%	◎
36 伊是名村	4 ③	水産物加工施設機能強化事業	R3 ～ R3	もずくカゴ及びリサイクルプラ缶洗浄作業の効率化やもずく加工施設で製缶したもずくの出荷量の増加を図ること及び衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体を支援する。	もずく運搬用カゴ及び製缶用リサイクルプラ缶の洗浄機械購入及び設置の完了	もずく運搬用カゴ及び製缶用リサイクルプラ缶の洗浄機械購入及び設置の完了	◎
37 久米島町	1 ①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	価格差の割合:106%	◎



# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
37 久米島町	1 ②	水産物加工場機能強化事業	R3 ~ R3	水産物加工品が安定生産、安定供給できる体制を整え、出荷量の増加を図るため、水産物加工処理施設の生産機能強化への支援を行う。	水産物加工処理施設で製品化された水産物の出荷量及び直売実績 出荷量 130,000kg以上/年 直売実績 500千円	出荷量 119,574kg以上/年 直売実績 212千円	未
37 久米島町	1 ③	久米島町循環型農業促進事業	H25 ~ R3	地域資源を活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥センターの生産ラインの機能強化を行う。	袋詰め堆肥出荷量 17,000袋以上/年	-	繰
37 久米島町	1 ④	冷蔵コンテナ導入事業	R3 ~ R3	島の主要産業である花卉(菊)が気温に左右されず安定して供給できる体制を構築するため、冷蔵コンテナを導入し、出荷体制機能強化を図る。	冷蔵コンテナ導入完了 電気工事完了	-	繰
37 久米島町	2 ①	久米島紬販売促進事業	H24 ~ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,300万円以上 ②小物売上額 1,200万円以上	①反物売上額 6,224万円 ②小物売上額 768万円	○
37 久米島町	2 ②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ~ R3	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	・開催、出展した物産展における島特産品の販売額3,550万円以上 ・ビジネスマッチングによる新規取引総数:5件	・島特産品の販売額: 456万円 ・新規取引総数: (実施なし)	未
37 久米島町	2 ③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ~ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	各種取組に参加した児童生徒へのアンケートにより「職業に対して『良いイメージ』と回答した割合」90%以上	各種取組に参加した児童生徒へのアンケートにより「職業に対して『良いイメージ』と回答した割合」86%	○
37 久米島町	3 ①	観光誘客促進事業	H26 ~ R3	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。	①島外でのイベント来場者へのアンケートにより、「久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上 ②来島した観光客へのアンケートにより、「観光案内所があることで利便性が確保されている」と回答した割合80%以上	①未実施 ②未実施	未
37 久米島町	3 ②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ~ R3	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び民泊受入体制の整備・強化を行う。	観光体験プログラム売上額 14,035,802円以上	観光体験プログラム売上額 637,505円	未
37 久米島町	3 ③	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ~ R3	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	久米島町への観光入域者数:122,000人以上	久米島町への観光入域者数:54,206人	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
37 久米島町	3 ④	久米島観光プロモーション事業	H26 ～ R3	久米島町の観光誘客を図るため、プロモーションに効果的な戦略を構築し、国内外へプロモーションを実施する。	久米島町への観光入域者数: 122,000人以上	久米島町への観光入域者数: 54,206人	未
37 久米島町	4 ①	島外保育士確保対策事業	R3 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	保育所等利用待機児童数調査における待機児童数 0人/R4.4.1時点	保育所等利用待機児童数調査における待機児童数 16人/R4.4.1時点	未
37 久米島町	5 ①	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・修復を行った古文書の利用件数 120件以上 ・調査利用者 5名以上 ・修復資料の見学者数 6319人以上	・修復を行った古文書の利用件数 10件 ・調査利用者 2名 ・修復資料の見学者数 2,780人	未
37 久米島町	6 ①	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	児童へのアンケートにより「英語に対する興味・関心が高まった」の回答 85%以上	児童へのアンケートにより「英語に対する興味・関心が高まった」の回答 87%	◎
37 久米島町	6 ②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で小学生(5年生・6年生) 県平均+2点以上	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で小学生(5年生・6年生) 県平均 +5点	◎
37 久米島町	6 ③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	・対象児童生徒の保護者へのアンケートにより「特別支援教育支援員の対応への満足度」85%以上	・対象児童生徒の保護者へのアンケートにより「特別支援教育支援員の対応への満足度」87%	◎
37 久米島町	6 ④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	児童生徒の保護者に対するアンケートにより「派遣によって生徒の視野が広がった」の回答 80%以上	児童生徒の保護者に対するアンケートにより「派遣によって生徒の視野が広がった」の回答 84%	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R3	小中学校の発達過程に応じ外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 +1.0以上	①アンケート結果: 77.8% ②沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差: 0.85%	未

## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	1 ②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援を行い、教員による電子黒板などのICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう支援を行うため、小中学校にICT支援員を配置する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:96.5%	◎
38 八重瀬町	1 ③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ①小学校(国語・算数) -0.1ポイント以上 ②中学校(国語・数学) 平均以上	①小学校(国語・算数):-1.45ポイント ②中学校(国語・数学):+8.75ポイント	△
38 八重瀬町	1 ④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:83.3%	◎
38 八重瀬町	1 ⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H24 ～ R3	GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を新規で導入し、主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図る。	①町内小中学校の全教室へ電子黒板及びパソコンを導入する。また、中学校に整備されている電子黒板は、校内ネットワークとの接続に対応していないため、一部の教室へ校内ネットワークとの接続可能な電子黒板等の整備を進める。(R3年度の目標値:100%) ②児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	①100%整備完了 ②アンケート結果:92%	◎
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感ずるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	アンケート結果:93%	◎
38 八重瀬町	2 ②	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R3	港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育及び観光資源としての活用に向けて周辺整備を行う。	港川フィッシャー遺跡の整備完了	整備完了	◎
38 八重瀬町	2 ③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	野球キャンプの受入れ 5件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	野球キャンプの受入れ:5件 サッカーキャンプの受入れ:4件	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	2 ④	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行い、キャンプ受入時に必要なものを揃えることで、キャンプの誘致を行う。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	サッカーキャンプチーム4チーム誘致 周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す。	サッカーキャンプチームの誘致:2チーム 周遊ツールを活用した150万円の消費喚起:17万円	未
38 八重瀬町	2 ⑤	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R3	町の観光資源である桜を活用して観光客の誘致を図るため、桜まつりへの開催支援を行う。	・桜まつりの来場者数 7,400人以上	来場者数:12,376人	◎
38 八重瀬町	3 ①	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	主要観光施設の入域客数 107,000人以上	入域客数:205,000人	◎
38 八重瀬町	4 ②	八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	価格差の割合:105%	未
38 八重瀬町	4 ③	乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対して支援を行う。	生産乳量:4,469,000kg以上 乳質(脂肪率):3.9%以上	生産乳量:4,611,989kg 乳質(脂肪率):4.02%	◎
38 八重瀬町	5 ①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	アンケート結果 ① 89% ② 97%	◎
38 八重瀬町	6 ①	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R33	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	具志頭運動公園の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量4.1t/月	削減量4.1t/月	◎
38 八重瀬町	7 ①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R3	健康相談や育児教室等の保健事業にて実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当該事業のあり方について検証する	アンケート結果:97%	◎
38 八重瀬町	7 ②	具志頭運動公園健康増進機能強化事業	R2 ～ R3	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	・施設整備(健康増進分)の完了 ・監理業務(健康増進分)の完了 ・パークゴルフ場整備工事の実施 ・物件補償の完了	-	繰

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	8 ①	輸入感染症対策推進事業	R2 ~ R3	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数:0件	◎
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	H25 ~ R3	魅力的な観光地としての景観を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成及び道路環境について、「観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じた」の割合 80%以上	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成及び道路環境について、「観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じた」の割合 85%	◎
39 多良間村	1 ②	「たらま島一周マラソン大会」磨き上げ事業	R3 ~ R3	多良間村への観光誘客を図るため、既存の観光コンテンツとなる「たらま島一周マラソン大会」のイベント実施内容磨き上げを行う。島民の事業への参加も促し、島民全体で創り上げる事で、一過性ではなく持続的な誘客が可能なイベントへ磨き上げを図る。	一周マラソン大会 島外参加者数:200名	大会中止	未
39 多良間村	1 ③	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R3 ~ R3	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	・コンテンツ開発 2つの完了 ・ガイド育成 3名の完了	・コンテンツ開発 2つの完了 ・ガイド育成 3名の完了	◎
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ~ R2	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115.3%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 111.3%	○
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ~ R3	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートにより「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」の割合 80%以上	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートにより「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」の割合 83%	◎
39 多良間村	3 ②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ~ R3	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	①小学校 児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合 80%以上  ②中学校 英検4級の保有割合:35%以上	①小学校 児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合 82%  ②中学校 英検4級の保有割合:47%	◎
39 多良間村	3 ③	村営学習塾開設事業	H28 ~ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みたくて臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -5.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -3.1ポイント ・中学校(国語・数学・英語) -5.4ポイント	△

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
39 多良間村	3 ④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートにより「働くことへの興味・関心が湧いた」の割合 80%以上	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートにより「働くことへの興味・関心が湧いた」の割合 83%	◎
39 多良間村	3 ⑤	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	多良間村の歴史・文化・自然の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や自然環境の調査等を行い、資料を整理する。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 178人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 622人以上 ③シンポジウム来場者数 50人以上	①137人 ②451人 ③61人	○
39 多良間村	4 ①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R3	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	島民へのアンケートにより「運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっている」の割合 80%以上	島民へのアンケートにより「運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっている」の割合 98.66%	○
39 多良間村	5 ①	多良間村村身障害児等渡航費助成事業	R3 ～ R3	本村では対応できない身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	渡航費支援が必要な児童への支援率:100%	渡航費支援が必要な児童への支援率:100%	◎
39 多良間村	6 ①	多良間村トゥブリ道整備事業	R3 ～ R3	トゥブリ道を整備して、多良間島の青い海を村民はもとより観光客の親水の間として活用し、観光振興に繋げる。また、トゥブリ名の標柱を設置し貴重な生活文化の遺産として残し、児童生徒の郷土学習の間とする。	測量設計、整備工事及び標柱設置業務の完了	-	繰
40 竹富町	1 ①	西表東部公園整備事業	H29 ～ R4	西表東部地区に公園を整備し、地域住民の福祉向上を図る。	・施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	アンケート結果:93.5%	◎
40 竹富町	1 ②	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R3	島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。	①特定健診対象者の受診率:60%以上 ②胃がん検診対象者の受診率:8.7%以上 ③婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率:18.8%以上	①特定健診対象者の受診率:49.5% ②胃がん検診対象者の受診率:12.1% ③婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率:26.2%	◎
40 竹富町	1 ③	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ～ R3	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:65.4%	◎

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
40 竹富町	1 ④	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R3	保護者の育児負担の軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	【小浜】 ・建築設備工事の完了(造成工事、建築設備工事、工事監理) 【竹富】 ・建築設備工事の完了(建築設備工事、工事監理) 【西表東部】 ・外構(駐車場)工事の完了	-	繰
40 竹富町	2 ①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R3	滞在型・着地型観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:47.1%	○
40 竹富町	2 ②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R3	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上と、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設を整備する。	基本計画策定の完了	基本計画策定の完了	◎
40 竹富町	3 ①	児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:100%	◎
40 竹富町	3 ②	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	幼児児童の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:72%	○
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	導入した優良母牛から産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 110.8%以上	導入した優良母牛から産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:113.25%	◎
40 竹富町	4 ②	文化財美化保全事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:55%	未
40 竹富町	4 ③	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R3	イリオモテヤマネコの生息環境を保護するため、逸失した飼猫等によるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	①逸失ペットの保護収容個体を11頭以内。 ②特定の感染症に新たに感染する個体の件数0件	①逸失ペットの保護収容個体:3頭 ②特定の感染症に新たに感染する個体の件数:0件	◎
41 与那国町	1 ②	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R2	新しい販路を開拓し与那国島産品の売上増加を図るため、販売促進についての講習会を開催し、県内外の物産展に出展する。	全体参加の物産展ごとの売上1,700千円以上	全体参加の物産展ごとの売上:0千円	未

# 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
41 与那国町	1 ③	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R33	与那国島の認知度を向上させ、観光誘客を図るため、県内外において観光誘客プロモーション活動を行う団体に対して活動に係る経費を補助する。	・観光物産・伝統芸能フェア来場者数 延べ5,000人以上 ・航空機チャーター便による来島者数 1,750人以上 ・クルーズ船による来島者数 600人以上	・観光物産・伝統芸能フェア来場者数:0人 ・航空機チャーター便による来島者数:0人 ・クルーズ船による来島者数:0人	未
41 与那国町	1 ④	与那国民謡の文化承継事業	R3 ～ R3	教育や観光に活用できる地域資源として価値を高めるため、与那国民謡の価値や魅力を掘り起こし、発祥の地に解説板を整備する。	講習会受講者へアンケートを行い、「与那国島の歴史・文化への理解が深まったか(80%)」について、事業の効果を検証する。	講習会受講者へアンケート:84%	◎
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 114%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 119%	◎
41 与那国町	2 ②	農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	本町で生産または水揚げされた生鮮農水産物の販路確保を図るため、農水産業団体等が与那国町から沖縄本島への生鮮農水産物を出荷する際の輸送費の一部を補助する。	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:24.3% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:54.7%	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:38% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:38%	△
41 与那国町	2 ③	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R3	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者数の維持確保:38人以上	—	繰
41 与那国町	3 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、ICT機器を活用した授業を行い、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	R3全国学力・学習状況調査(R4.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	R3全国学力・学習状況調査へ向けた学習指導の実施	◎
41 与那国町	3 ②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R2	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会や選抜による合同練習等に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未



## 令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R3成果目標(指標)	R3成果実績(指標)	評価
41 与那国町	4 ①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R3	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	子育てに対する負担感の軽減が感じられた(88%以上)を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	利用児童の保護者へのアンケート:91%	◎
41 与那国町	5 ①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	◎
41 与那国町	6 ①	公共交通路線支援事業	H24 ～ R33	島内を移動しやすい環境を整え、島民及び来島者の利便性を確保するため、島内を巡回する無料路線バスを運行する。	島内移動の利便性が確保されているか(80%以上)を含め、島民及び来島者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	島民及び来島者を対象としたアンケート:100%	◎
41 与那国町	6 ②	与那国町国境結節点化推進事業	R1 ～ R3	本町の地理的優位性を活かし交流人口の増加を図るため、国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。令和2年度で作成した「国際船舶就航事業の各種実施手順」を基に次年度以降の実証実験が円滑に進むための各種の手続き等に着手する。	(1)令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(全体版) (2)令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(概要版) (3)模擬手続書(手続サンプル集) (4)港湾区域等衛生管理調査実施計画書(案)	-	繰